



東京女子体育大学・東京女子体育短期大学
2021

東京女子体育大学
東京女子体育短期大学

T W C P E

TOKYO WOMEN'S COLLEGE OF PHYSICAL EDUCATION



GUIDE BOOK
2021

踏み出す自分も、育む力も手に入れる。

世界で挑戦するアスリート、子どもたちの見本となる指導者、
社会で活躍する人たちには、どんなときでも前に踏み出す力を持っています。
この踏み出す力を通して、たくさんの成長を経験したあなただからこそ、
周囲の人を育む力を身に付けることができます。
あなたも東京女子体育大学を、
これらの力を身に付けるスタートラインにしてみませんか。

I will step myself

2021 TWCPE
Tokyo Women's College of Physical Education

CONTENTS

- 02 卒業生インタビュー
- 12 教育スローガン
一生ものの、姿勢をつくる。
「極匠伝説」
- 14 女子大×体育大の魅力

- 16 建学の精神
- 17 3つのポリシー
- 20 学長からのメッセージ／沿革
- 22 東京女子体育大学とオリンピック

学部・学科紹介

- 26 大学／体育学部 体育学科
- 36 短期大学／保健体育学科
- 42 短期大学／児童教育学科

- 50 学外学習
- 52 教員からのメッセージ
- 56 キャリア支援
- 58 卒業生の就職実績
- 60 取得できる免許・資格
- 62 内定者メッセージ

- 64 クラブ紹介
- 70 キャンパスライフ
- 72 東女体大施設 Check!
- 74 キャンパスマップ
- 76 学生寮
- 77 学費・奨学金
- 78 アクセスマップ
- 80 オープンキャンパス情報／大学情報・周辺図

スポーツから広がる将来への選択肢。

スポーツ関係の分野へ就職するイメージが強い体育大学ですが、
東京女子体育大学はスポーツ以外の分野にも将来の選択肢がたくさん。
実際に幅広い分野で活躍している卒業生から
東京女子体育大学を目指す皆さんへのメッセージをご紹介します。

Interview 01

トヨタ自動車株式会社
スポーツ強化・地域貢献部

大学で身に付いた
コミュニケーションの力で
“人から愛される人物”になる。

たくさんの方から応援してもらうために、
架け橋としてサポート。

大学4年生のときに先生から「ソフトボールを続けてみない？」と勧めていただいたこと、そして当時あこがれだった海外と関われる部署があることから今の会社に入社。海外事業部の仕事を行いながら、選手として4年間プレーしていました。引退後も10年間は海外事業部で会社の業務を覚え、その後は人事部へ配属。そこで女子バスケットボールのチームをサポートする事務局の仕事を3年間行っていました。このとき、運動部全体のサポートに興味を持ったことがきっかけで、現在の業務に携わるようになりました。

クラブチームの選手は練習が多く、あまり職場に来られないときもあります。そこで、少しでも選手と従業員がコミュニケーションを取れるような企画を考えることが仕事内容の一つです。実際に選手と従業員の繋がりが深まることで、試合の応援に来てもらえる従業員が増加しました。職場でスポーツの話題をコミュニケーションの一つとして取り上げてもらえたり、選手の活躍が応援に来ていただける職場・会社の一体感に繋がることにやりがいを感じます。

今後の目標としては、選手のセカンドキャリアを考えられる人になること。私自身、選手として練習と仕事を並行し、引退後は同期との間にスキルの差を感じていたので、今の現役選手が引退した時には、安心して働ける職場作りを目指していきたいです。

職場では、仕事の能力だけでなく「どういった人か？」も重視されます。東女体大は礼儀や挨拶はもちろん、同級生や部活のメンバーとたくさんコミュニケーションを取りながら「人が何を求めているのか考える力」が自然と身に付くので、みなさんが就職したときに職場の人から愛される人物へ成長できる大学だと思います。

所 祐未 さん

体育学部 体育学科 卒業

PROFILE

1999年3月に東女体大を卒業後、トヨタ自動車株式会社へ入社。ソフトボールチームの選手として4年間を過ごしながら、海外事業部の仕事もこなしていた。現在の「スポーツ強化・地域貢献部」では、運動部の予算や選手の契約・教育・配属、試合の受付などチーム運営のマネジメントを中心にさまざまな業務を担っている。

ひとりでも多くの人を
健康にするために
予防医学の大切さを広めたい。

公益財団法人 明治安田厚生事業団
ウェルネス開発室



小野寺 由美子 さん

体育学部 体育学科 卒業

PROFILE

1988年3月に東女体大を卒業。大手フィットネスクラブで10年間勤務。主に運動処方専門とし、アメリカスポーツ医学会認定の「運動生理学士」の資格を得て活動。財団法人の健診センターで疾病の早期発見・重症化予防などの健康づくりプログラムを開発。2005年からは現在の公益財団法人 明治安田厚生事業団の「ウェルネス開発室」で働く傍ら、講演会や運動指導者に向けた教育活動など多方面で活躍している。博士(スポーツ健康科学)。

研究や運動プログラムの開発で健康づくりに貢献。

現在勤めている職場では、「体力医学研究事業」と「ウェルネス事業」が連携して社会の健康増進に貢献しています。私は主にウェルネス事業を推進しており、研究から得られたエビデンスを広く一般の方たちに分かりやすく発信したり、安全で効果的かつ継続できる運動プログラムを開発・提供することで、お客様の健康づくりをサポートしています。ほかにも地域や企業の方に向けた健康づくりの講演会や、市町村の保健師の方と一緒に住民への運動指導・健康測定会なども実施。また、大学や専門学校で、運動指導者や看護師などを目指す学生への教育活動も行っています。実際に東女体大では、「健康運動指導士」の資格を取得するための集中授業を担当しました。

やりがいを感じる瞬間は、やはりお客様から感謝されたときです。例えば、肩こりがひどくて運動やマッサージをしても良くならないお客様がいらっしゃいました。その方は血糖値や血圧が高く、動脈硬化を引き起こす危険性が高かったので検査を勧めたところ、狭心症と診断されました。気づかないままでは心筋梗塞など命に関わる病気となりかねなかったので、とても感謝してもらえたね。

東女体大は「将来、何になろうかな？」と迷っている学生でも、先生方からさまざまな人生の選択肢を示してもらえる場所だと思います。私も健康づくり指導者の仕事は学生がイメージすることだけではないと授業で伝えることを意識しています。アスリートや教員への道だけでなく、周囲を幸せにする健康づくりや高齢者に対して、介護よりも予防という観点から皆さんのやりがいに繋がる仕事が見つかるのではないのでしょうか。



大学で学んだことが
お客様との会話に繋がることを実感。

株式会社グローバルスポーツ医学研究所 取締役



技術力の維持には、日々の体力トレーニングも大切。

入社したきっかけは、スポーツ選手のトレーナーとして治療をしたいという思いからです。そして、会社に所属しながら選手をサポートするためのステップアップとして、鍼灸師の国家資格の取得を決意。仕事と両立しながら専門学校へ通うことにしました。

入社後は、今でも「もっと勉強していれば」と思うぐらいに東女体大の授業で学んだことが仕事に繋がっているなど実感します。施術中の会話の中でも、お客様の理解レベルに合わせて大まかに筋肉の名前を出して説明できることが大事なので、「この筋肉は何て言うの?」と尋ねられたときに解剖学などで学んだことが役立っています。

普段の業務では、お客様に鍼治療などの施術をメインに受け持つほかに、講師として講習会を行うこともあります。当社は「技術が一番」というこだわりを持っているので、常に技術力を保つことが大切。そのためにも私自身、講習会でお互いに技術研鑽をしたり、スポーツをして体力維持を心掛けています。仕事の中で感謝の言葉を聞くことはなかなか難しいですが、疲れた様子でいらっしゃったお客様が施術後に明るい表情で「来て良かった、ありがとう」と言っていたけるとやりがいを感じます。

2010年のバンクーバーオリンピックでは、念願だったスピードスケートの公認トレーナーとして同行することもできました。また、当社は厚生労働大臣認定の女性が活躍できる企業の証である「えるぼし」認定の最高位三ツ星を取得しているので、体育大学で学ぶ女性の道が大いに開ける職場です。



鹿野 里美 さん

体育学部 体育学科 卒業

PROFILE

1999年3月に東女体大を卒業後、株式会社グローバルスポーツ医学研究所に入社。お客様に鍼灸治療や運動療法、物理療法などを含めた統合治療を行っている。2010年のバンクーバーオリンピックではスピードスケートの公認トレーナーとして同行した経験を持つ。2013年に取締役就任。

「グローバル治療院」について

「公益財団法人 全日本柔道連盟指定」治療院として1989年のベオグラード世界柔道選手権大会と1992年のバルセロナオリンピック以降、全ての世界選手権やオリンピックで選手たちをサポートしている。

Interview 04

ほかの人にはないエピソードがある。

東京シティ信用金庫 営業店職員



吉田 紘子 さん

体育学部 体育学科 卒業

PROFILE

2017年3月に東女体大を卒業後、東京シティ信用金庫に就職。現在3年目で、お客様と会話をしながら入金や出金といった窓口業務を担っている。東女体大は小学生の頃から続けている卓球をきっかけに入学。休日には、所属している社会人のクラブチームで試合に出ることも。



苦手なことでも目標に向かって頑張る力。
この大切さを教えてくれた場所です。

東女体大ではダンスなどの授業で、自分たちで表現方法を考えるといった経験をしてきました。この経験は、“自分をどのように表現するとお客様に喜んでいただけるのか”“一緒に働く先輩方はどういった伝え方をすれば素早く理解してもらえるのか”といったコミュニケーションの部分で役立っていると実感します。実際に、お客様に顔を覚えていただくことも増え、「会いにきたよ」と言っていたら、やりがいを感じられますね。また、部活動で集団行動をしていたので、いかに視野を広げて周りに気を配れるかを意識しています。ときどき職場でも窓口から離れて後ろからお店全体を見渡したときに、「ここが困っているから、助ければ上手く回るな」と周囲に目を向ける力として仕事に活かされています。

就職活動では、体育大学で学んだからこそ話せるような経験がたくさんできたことが良かったですね。実は正直、不得意なスポーツもあったので入学当初は不安を感じていた部分もありました。特に水泳が苦手で、ほとんどゼロからのスタートでしたが、一生懸命に頑張ることで授業の最後には4種目すべて泳げるようになりました。このように、「苦手なことでも目標に向かって頑張る力」が自然と身に付くことも東女体大の魅力だと思います。

Interview 05

スポーツでも、仕事でも「教え方」で
大事なことは同じだと気づいた。

東京シティ信用金庫 人事部 研修課



相手の主観で伝わる教え方を意識。
後輩たちの成長した姿にやりがいを感じます。

今の職場に入社した当初は私も窓口業務でしたが、3年目から人事部へ異動することに。採用から研修まで見ていた後輩たちが、次の新入職員の先輩として指導する姿や5年目の研修のときに話す内容が1年目の頃から成長しているとやりがいを感じます。

人に教えることが多い中で、「コーチング論」など授業で学んだことが仕事にも活かしていると実感することはたくさん。スポーツでも仕事でも、「教え方」で大事なことは共通していると思います。特に“自分の主観だけではなく、相手にとっての主観で伝わるように”という先生方の教えは今でも記憶に残っていますね。例えば、新人の頃に行うお札を数える練習では、見て感覚で分かる人と「ポイントはここを持って、こんなふうにした方がいいよ」ときっちりと説明することで分かる人がいるので、相手に合わせた教え方を意識しています。

また、体育大ということから、他大学と比べて金融に関する知識に不安を感じていましたが、むしろ東女体大で身に付いた礼儀や挨拶が就職活動でとても役立ちました。

東女体大の魅力は、トップの世界で活躍する学生たちに刺激を受けながら、自分も高い志とチャレンジ精神を持てること。苦手なスポーツの授業でも一生懸命に取り組むので、社会に出たときに、苦手なことや難しいことにぶつかっても挑戦する気持ちを身に付けることができます。

飯塚 香菜 さん

体育学部 体育学科 卒業

PROFILE

2012年3月に東女体大を卒業後、東京シティ信用金庫へ入庫。主に人事部の研修課で新入職員の研修準備や講師を行っている。ほかにも、採用面接や大学への企業説明、職員の金融関連の資格取得の取りまとめなども担う。休日は社会人のクラブチームでバドミントンをプレーしている。





桑名 知可子 さん

短期大学／保健体育学科 卒業

PROFILE

2018年3月に東女体大を卒業後、自衛隊体育学校に入学。中学生の頃にJOC(日本オリンピック委員会)主催の「タレント発掘事業」に通う中で、先生の推薦を受けて水泳・ランニング・射撃の近代三種の試合に出場。そこでの優勝をきっかけに、高校生からはフェンシングと馬術をあわせた近代五種を本格的にスタートすることに。短期大学ではフェンシング部の練習に励みながら、他の競技の練習もこなしていた。

Interview 06

やりがいを感じるのは、
5種目それぞれの
目標を達成したとき。

自衛隊体育学校

アスリート

ほとんど経験のなかったフェンシング。
仲間にも恵まれた部活の中で、
成長を感じた。

東女体大に入学を決めた理由は、近代五種の一つであるフェンシング部があること。そして、他の4種目の練習とも両立できる大学だったからです。そのため、大学ではフェンシングの練習をしながら、ときどきクラブチームなどで馬術や水泳の練習を行う毎日でした。フェンシングはほとんど経験がない状態での入部でしたが、周囲のサポートや練習を積み重ねていく中で試合にも出られるように。これは、競技者として大きく成長できた経験だと思います。大学の授業では、栄養学などの知識が競技をする上で活かされているなと実感しています。

卒業後も近代五種を続けるにあたり大切にしていたことは練習環境。特に自衛隊体育学校は、5種目すべての環境が整っていることが魅力でした。今は自衛隊の中でもアスリートとして日々練習に励んでいます。種目が5つと多いですが、それぞれに成長を実感できることが楽しいポイント。例えば、練習を始める前に、「水泳は何秒で泳ぐ」「射撃は何発で当てる」など種目ごとに一つの目標を立てることを心掛け、それらを達成できたときはとてもやりがいを感じられますね。これからも、東女体大で学んだことを活かしながら競技者として活躍できるように努力したいと思います。また、東女体大は取得できる資格がたくさんあることが魅力の一つ。私も競技選手を引退した後は、東女体大で学んだ「スポーツリーダー」の資格などを活用して、スポーツに携わっていきたいと思います。

近代五種について

近代オリンピックを提唱したクーベルタン男爵によって考案された近代五種競技。“キング・オブ・スポーツ”とも呼ばれ、1日でフェンシング・水泳・馬術・ランニング・射撃の5種目に挑戦する競技です。1912年第5回ストックホルム大会からオリンピックの正式競技として加わり、2000年第27回シドニー大会からは女子種目も加わっています。



実技や人としての礼儀など、 学んだことをすべて生徒に還元。

高校時代から教員に憧れはあったものの、入学時はソフトボールの強い場所で成長したいという気持ちが強くありました。3年生になった段階で将来を考えたとき、教員への道を意識し始めました。そこから教員になる決意をしたのは、教育実習がきっかけです。授業もホームルームも上手くできなくて、すごく悔しくて。そのときに「もっと勉強して、きちんと教えたい」と思ったんです。

実際に教員になった今、大学時代に学んだことがたくさん活きているなと実感します。ソフトボールや授業を通して学んだ礼儀や規律の部分を生徒にも伝えていますが、卒業生から「就職活動で役立った」と言ってもらえると嬉しいですね。また実技では、さまざまな専門種目の先生方に教えていただいたこと。バスケットボールであれば、なぜシュートの際に指で回転をかけるのかなどの理屈を知ること、私自身が上達したときの教わり方を自分なりにアレンジして生徒に還元しています。生徒がスポーツの仕組みや保健の知識を「そういうことか」と理解してくれたときにやりがいを感じます。そういった大学時代の教えを活かしながら、運動の苦手な生徒でも3年後や5年後まで「運動に取り組もう!」と思ってもらえる授業をすることが私の目標ですね。

東女体大は種目を専門とする先生方の手厚い指導が受けられるため、多くのスポーツについて受験生が考えている1ランクも2ランクも上のレベルで学べるのが魅力。また、高い志を持った学生も多いので、一緒に切磋琢磨しながら成長できる場所だと思います。

Interview 07

目標は3年後や5年後まで
伝わる授業をすること。

和光国際高等学校 高等学校教諭

竹之内 ひとみ さん

体育学部 体育学科 卒業

PROFILE

2012年3月に東女体大を卒業後、同校で8年目を迎える。東女体大へはソフトボールの強い大学で成長したいという思いに加え、憧れだった教員への道も選べることから入学を決意。現在の高校では、体育教師として1〜3年生の実技授業だけでなく、保健の授業も受け持つ。



一生ものの、姿勢をつくる。

技術力を磨く。動きが変わる。

東京女子体育大学・東京女子体育短期大学
が目指すのは、“運動文化の発信基地”。その
ために求められるのは、実践者として十分な
技術力を持つこと。指導者の一言が能力を
引き出し、より洗練された動きへと導きます。

極
匠

指導のプロと現場で学ぶ。

目の前にいる競技者にアドバイスを求められ
たとき、どうしたら動きが変わるかを的確に
指摘できる指導者となるために。科学的な知
識や理論に裏付けされた実践的な指導法を
各分野の先生から学びます。

学び合い、教え合う。

お互いの考えから学び、創り上げていく経験
を通してはじめて得ることができる力。児童教
育の担い手として、子どもたちに「伝える」こと
を大切にする。このプロセスが主体的に取り
組む力を育てます。

伝

伝統が創る、空気をまとう。

「凜と立つ」意志のある眼差し、背筋の伸び
た姿勢、ひときわ目を引く存在感。女子体育
の先駆けとして100年以上の歴史を刻んで
きた東京女子体育大学・東京女子体育短期
大学では、教育を通して思慮深く、高潔な人
格形成を目指します。

凜

私たちは約束します。卒業するときのあなたに。

【東京女子体育大学・東京女子体育短期大学が大切にしていること】

個性に寄り添う
指導者が
あなただけの強みを
引き出します。

今、1番じゃなくてもいい。突出した才能がなくてもいい。競技者としてのパフォーマンスは重要ですが、競技に向き合う姿勢や人間性など、あなたならではの持ち味を見つけて伸ばすことが大切だと考えます。だからこそ東女体大の指導者は、あなたが本来持っている個性に寄り添って、チームを盛り上げる明るさや、特長を活かしたプレイスタイルなどを伸ばし、それが強みになるよう応援し続けていきます。人から認められた「自分だけの強み」はあなたの大きな自信になります。それに気づいたあなたには、世界が違って見えるかもしれません。

「できない自分」を
乗り越える経験が
前向きな生き方を
育みます。

苦手なことに挑むのは、とても大変です。できないままでも生きていけます。でもあなたがあえて、それに挑戦することには、大きな意味がある。「なんとかして克服しよう」と挑戦する経験を通じて、人生に立ち足る困難を避けるのではなく、「前向きに乗り越えていく生き方」を身に付けられると私たちは信じています。だから東女体大では、1年次からさまざまな実技に取り組んでもらいます。苦手な実技にも挑戦し、できない自分に向き合う経験もします。ときには仲間の力も借りて進んでください。そこからきっと、大きな壁にも臆さない強さを身に付けられるはずです。

チームで目的達成を
目指す中で
一人ではできない成長を
実感できます。

人と一緒に何かを成し遂げることは、一人で取り組む以上に大変で、面倒も多いかも知れません。しかし東女体大の授業や実習において、グループで達成するミッションを度々設けているのは、チームで取り組むからこそ気づけることがあるからです。自分と違う人たちと同じ目標を目指す中で、人に教えたり、なんとかみんなを鼓舞しようと悩んだり、さまざまな場面であなたの力が試されます。また、自分のしたことがだれかに感謝されたり、だれかの行動であなたが救われることもあるはずです。それらはすべてあなたが成長させる経験となります。自分だけでは得られない大きな成長を、そこからつかみ取ってください。

任される経験を
通して
自分の力で行動する習慣が
身に付きます。

だれかの指示を受けるのではなく、自分の行動を自分で決める。それは自由である反面、責任が伴うことでもあります。東女体大の学生たちは「任される」機会が多く、自分の判断で行動します。例えば部活動はチーム作りも、使う設備の調整も、学生が自らの責任で行います。初めは「どうしてこんなことまで」と思うかもしれませんが。しかし自分の役割を全うするうちに、人からの信頼が増し、さらに自分でできることが増えていくことに気づきます。そうして「任されるよろこび」を知ったあなたはきっと将来、どんな場所でも人からの指示を待つのではなく、自分から動き出せる自由な大人になれるのです。

そのときあなたが“自分に胸を張れる人”になっていることを。

そして卒業した後も、自分らしく活躍し続けられることを。





東京女子体育大学・東京女子体育短期大学

建学の精神

「心身ともに健全で、質素で誠実、礼儀正しい女子体育指導者の育成」

この建学の精神は、藤村トヨの女性観、教育観により確立したものです。

藤村トヨの想いと考え



藤村トヨ

腰伸ばせ即腹の力

運動の時にも

思慮の時にも

臥しても

座しても

行く時にも

立つ時にも

腰伸ばせ

本学は、日本初の女子体育教師養成学校として創設され、創設時から音楽を使った体操遊戯を取り入れ、1世紀以上にわたって社会に貢献してきました。健康の秘訣として藤村トヨが提唱したこの教えは、事における精神的構えとして現在でも本学を象徴する教訓として生きています。



東京女子体育大学・東京女子体育短期大学

3つのポリシー

大学・体育学部 体育学科

教育目標

東京女子体育大学は、建学の精神である「心身ともに健全で、質素で誠実、礼儀正しい女子体育指導者の育成」を体現し、その姿勢をもって正しく社会の要請に応え、教育への情熱ならびにより高度な専門知識と技能を有する実践的な指導者の育成を教育の目標とします。

Diploma Policy

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

教育目標をきっかけ、4年間の学修を通して教育課程を修了して所定の単位数を修得し、以下に定める能力を身につけた学生に対して、「学士（体育学）」の学位を授与します。

〔人間形成・知識・技能・理解力・指導力〕

- 豊かな社会性と人間性を支える広い教養を身につけている。
- 体育学の内容を理解し実践できる能力を有している。
- 専門分野にとどまらず、様々な領域に柔軟に対応し、指導できる力を有している。

〔実践的に必要な思考力・判断力・表現力〕

- 自ら設定した課題について、専門領域から分析・考察することができる。
- 多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができる。

〔社会との関わり・関心・意欲〕

- 社会の変化に伴う諸問題を理解し、探究心を持って積極的に解決することができる。
- 体育・スポーツの知を生かし、社会の発展に貢献できる。

Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

〔カリキュラムの編成と教育内容〕

4年間の学修を通して教育目標を達成するための、教養科目、基礎科目および体育の専門科目で編成します。専門科目は、3つの専攻コース（体育学、コーチング学、スポーツ健康学）別の科目と共通の科目で編成します。

それぞれの教育内容は次のとおりです。

- 教養科目**
本学の基本理念および歴史と伝統、国語、外国語等豊かな教養の基盤を養います。
- 基礎科目**
体育・スポーツの基礎理論と基礎実技を学び、各専門領域の導入を図ります。
- 専門科目**
身体教育および健康教育のあり方やスポーツの文化的な価値や意義に関し、理論と実技の両面から専門的に学びます。
- ゼミナール・卒業研究**
3年次からは、少人数のゼミナールにより、担当教員の指導のもと、研究方法を学び、意欲的に研究活動に取り組み研究発表を行います。

〔教育方法〕

講義、演習、実技、実習等を複合的にを行います。また、学生同士が教え合い相互に学び合う協同学習を授業形態に取り入れています。

〔学修成果の評価方法〕

科目ごとに、シラバス（授業計画書）に明示した評価の方法により、試験（筆記、実技等）、レポート等で行います。

Admission Policy

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学は、多様な入学試験により、入学者に求める力を多面的・多角的に評価し、総合的に判定します。

受け入れる学生には、以下のいずれかの能力を求めます。

- 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。
—高等学校での履修内容を理解し高等学校卒業相当の知識を有している。
—体育・スポーツに関して、修学に必要な実技能力を有している。
- 物事を多面的かつ多角的に観察し、論理的に考察することができる。
- 自分の考えをまとめた的確に表現することができる。
- 体育・スポーツに関わる諸問題に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある。
- 積極的に多様な人々とのコミュニケーションを図り相互理解に努めようとする態度を有している。

上記の能力は以下の試験で測ります。また求める人物像に応じて、各種試験ごとに出願書類、面接、学科試験等を用いて評価します。

■総合型選抜

建学の精神を理解し、本学の教育内容に高い関心とコミュニケーション能力を有し、入学後も意欲的に体育・スポーツ分野に研鑽を重ね、将来社会で活躍が期待できる者を求めます。

■学校推薦型選抜

公募推薦
本学の教育内容に高い関心を持ち、高校時代の成績が優秀で、体育・スポーツ分野に明確な目的意識をもっている者を求めます。

■スポーツ推薦

本学の教育内容に高い関心を持ち、優れた競技力を有し進学後もその技能に磨きをかけ体育・スポーツの分野で活躍できる資質を有している者を求めます。

■指定校推薦

本学が指定する高等学校における高等学校長が推薦する生徒で、本学の教育内容に高い関心を持ち、体育・スポーツ分野に明確な目的意識を持っている者を求めます。

■一般選抜

本学の教育内容に高い関心を持ち、学業に優れ、体育・スポーツに関する能力を有する者を求めます。

■共通テスト利用選抜

本学の教育内容に高い関心を持ち、学業に優れ、体育・スポーツに関する能力を有する者を求めます。



東京女子体育大学・東京女子体育短期大学

3つのポリシー

短期大学・保健体育学科

教育目標

東京女子体育短期大学 保健体育学科は、建学の精神である「心身ともに健全で、質素で誠実、礼儀正しい女子体育指導者の育成」を体現し、その姿勢をもって正しく社会の要請に応え、教育への情熱ならびに高度な専門知識と技能を有する実践的な指導者の育成を教育の目標とします。

Diploma Policy

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

教育目標をかかげ、2年間の学修を通して、教育課程を修了して所定の単位数を修得し、以下に定める能力を身につけた学生に対して、「短期大学士（保健体育）」の学位を授与します。

〔人間形成・知識・技能・理解力・指導力〕

- 豊かな社会性と人間性を支える広い教養を身につけている。
- 保健体育の内容を理解し実践できる能力を有している。
- 専門分野にとどまらず、様々な領域に柔軟に対応し、指導できる力を有している。

〔実践的に必要な思考力・判断力・表現力〕

- 自ら設定した課題について、専門領域から分析・考察することができる。
- 多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができる。

〔社会との関わり・関心・意欲〕

- 社会の変化に伴う諸問題を理解し、探究心を持って積極的に解決することができる。
- 保健体育およびスポーツの知を生かし、社会の発展に貢献できる。

Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

〔カリキュラムの編成と教育内容〕

2年間の学修を通して教育目標を達成するための、教養科目、基礎科目および体育の専門科目で編成します。

それぞれの教育内容は次のとおりです。

○教養科目

本学の基本理念および歴史と伝統、国語、外国語等豊かな教養の基盤を養います。

○基礎科目・専門科目

- ・スポーツを基盤とした専門の基礎理論と基礎実技を学び、実践力を養います。
- ・専門科目を選択することにより体育・スポーツの理論と実技の両面から専門的に学びます。

〔教育方法〕

講義、演習、実技、実習等を複合的に行います。また、学生同士が教え合い相互に学び合う協同学習を授業形態に取り入れています。

〔学修成果の評価方法〕

科目ごとに、シラバス（授業計画書）に明示した評価の方法により、試験（筆記、実技等）、レポート等で行います。



東京女子体育大学・東京女子体育短期大学

3つのポリシー

短期大学・児童教育学科

教育目標

東京女子体育短期大学 児童教育学科は、建学の精神である「心身ともに健全で、質素で誠実、礼儀正しい女子体育指導者の育成」を体現し、その姿勢をもって正しく社会の要請に応え、教育への情熱ならびに高度な専門知識と技能を有する実践的な指導者の育成を教育の目標とします。

Diploma Policy

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

教育目標をかかげ、2年間の学修を通して、教育課程を修了して所定の単位数を修得し、以下に定める能力を身につけた学生に対して、「短期大学士（児童教育）」の学位を授与します。

〔人間形成・知識・技能・理解力・指導力〕

- 豊かな社会性と人間性を支える広い教養を身につけている。
- 「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」の視点から子どもの成長過程を幅広くとらえることができる。
- 専門分野にとどまらず、様々な領域に柔軟に対応し、指導できる力を有している。

〔実践的に必要な思考力・判断力・表現力〕

- 自ら設定した課題について、専門領域から分析・考察することができる。
- 多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができる。

〔社会との関わり・関心・意欲〕

- 社会の変化に伴う諸問題を理解し、探究心を持って積極的に解決することができる。
- 保育・幼児教育および児童教育の知を生かし、社会の発展に貢献できる。

Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

〔カリキュラムの編成と教育内容〕

2年間の学修を通して教育目標を達成するために、教養科目、保育・幼児教育・児童教育に関する科目および教職に関する専門科目でカリキュラムを編成します。

それぞれの教育内容は次のとおりです。

○教養科目

本学の基本理念および歴史と伝統、国語、外国語等豊かな教養の基盤を養います。

○基礎科目・専門科目

- 音楽、図画工作、教育原理、発達心理学等、保育・幼児教育および児童教育の基礎理論と基礎実習により実践力を養います。
- ・幼小コース：幼稚園教諭および小学校教諭の資格取得に必要な教科と実習
- ・幼保コース：幼稚園教諭および保育士の資格取得に必要な教科と実習

〔教育方法〕

「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」を重視した教育を展開するために、講義、演習、実技、実習等を複合的に行います。さらに保育実習・教育実習や卒業公演である『創作オペレッタ』等を通してその能力を磨きあげます。

〔学修成果の評価方法〕

科目ごとに、シラバス（授業計画書）に明示した評価の方法により、試験（筆記、実技等）、レポート等で行います。

Admission Policy

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学は、多様な入学試験により、入学者に求める力を多面的・多角的に評価し、総合的に判定します。

受け入れる学生には、以下のいずれかの能力を求めます。

- 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。
 - ―高等学校での履修内容を理解し高等学校卒業相当の知識を有している。
 - ―音楽、図画工作、体育に関して、修学に必要な実技能力を有している。
- 物事を多面的かつ多角的に観察し、論理的に考察することができる。
- 自分の考えをまとめた的確に表現することができる。
- “スポーツを愛し、子どもを愛せる人”で、保育・幼児教育および児童教育に関わる諸問題に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある。
- 積極的に多様な人々とのコミュニケーションを図り相互理解に努めようとする態度を有している。

上記の能力は以下の試験で測ります。また求める人物像に応じて、各種試験ごとに出願書類、面接、学科試験等を用いて評価します。

■総合型選抜

建学の精神に基づき、本学の教育内容に高い関心とコミュニケーション能力を有し、入学後も意欲的に身体教育を中心とした保育・幼児教育および児童教育の分野に研鑽を重ね、将来社会で活躍が期待できる者を求めます。

■学校推薦型選抜

公募推薦

本学の教育内容に高い関心を持ち、高校時代の成績が優秀で、身体教育を中心とした保育・幼児教育および児童教育の分野に明確な目的意識をもっている者を求めます。

スポーツ推薦（幼小のみ）

本学の教育内容に高い関心を持ち、優れた競技力を有し進学後もその技能に磨きをかけスポーツの分野で活躍できる資質を有しており、将来、保育・幼児教育および児童教育の分野で活躍が期待できる者を求めます。

指定校推薦

本学が指定する高等学校における高等学校長が推薦する生徒で、本学の教育内容に高い関心を持ち、身体教育を中心とした、保育・幼児教育および児童教育の分野に明確な目的意識を持っている者を求めます。

■一般選抜

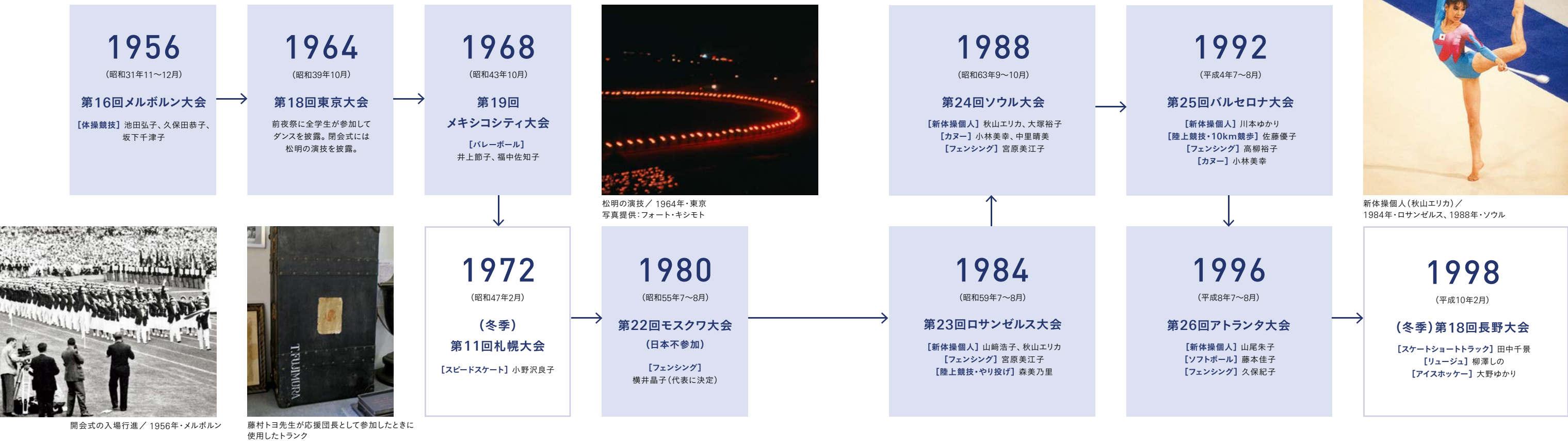
本学の保育・幼児教育および児童教育に高い関心を持ち、学業に優れた者を求めます。

一日は24時間で、それは誰にでも平等に与えられていますし、その時間をどう使うかは各個人に任

本学では、自らが歩んできた体育・スポーツの道に自信と誇りを持ち、そこで獲得した「知」にさらに磨きをかけたい人を求めています。学生、教職員一丸となって、この教育目標を実現すべく努力を重ねています。ぜひ一度本学に足を運び、生き生きとした教育現場を見て感じてほしいと思います。

A full-length portrait of Mr. Tetsuya Kato, Chairman of the Board of Directors. He is an older man with dark hair, smiling at the camera. He is wearing a grey double-breasted suit jacket over a white shirt and a blue and white striped tie. He is standing outdoors with his hands clasped in front of him. The background is a blurred outdoor setting with green foliage and a white metal railing.

※選手の名前は大会出場当時のものです



東京女子体育大学とオリンピック

TWCPE × Olympic

1956年の第16回メルボルン大会から半世紀以上の長きにわたって、多くのオリンピック選手を輩出してきた東京女子体育大学・東京女子体育短期大学。東京2020大会を見据えてさらなる飛躍を目指しています。

本学の学生が初めてオリンピックという大舞台で活躍したのは、昭和31(1956)年に開催された第16回メルボルン大会。3人の選手が「体操競技」に出場し、「団体総合」「徒手体操」で6位入賞を果たしました。そして昭和39(1964)年の第18回東京大会では、前夜祭でマスゲーム(輪のダンス)、閉会式で松明の演技を、本学学生が披露。幻想的で美しい松明の演技は、観客の記憶に残る素晴らしいフィナーレとして、いまでも語り継がれています。

東京2020大会のプロジェクトや、過去の実績など、詳しくはこちらからチェックできます！



学部・学科紹介

東京女子体育大学・東京女子体育短期大学の学び

大 学 体育学部 体育学科 P.26
Physical Education

短期大学 保健体育学科 P.36
Health and Physical Education

短期大学 児童教育学科 P.42
Early Childhood Education



陸上競技
志賀 充先生

Q

自分を成長させるために、
大切なことって何ですか？

木田 美跳さん
体育学部 体育学科3年
茨城県立土浦湖北高等学校出身

A

「どんな効果があるのか」
意味を理解して行動することだと思うよ。

大学／体育学部 体育学科

人の潜在能力を発揮させ、社会に活力を与えるスペシャリストへ

学びの概要

体育・スポーツに関する知識と技術を身に付け、さまざまな現場で
社会に活力を与えるスペシャリストとして活躍できます。

授業は、英語や音楽・美術といった豊かな人間性を育む教養科目と、座学と実技からスポーツの専門的な知識や運動スキルを習得する専門科目、そしてあらゆる年代の人に向けて正しく指導できる力を培う教職に関する科目の3分野の学びから成り立ちます。特に専門科目においては体育・スポーツ・健康など幅広い学びを用意。ベテランの指導者や各分野のスペシャリストから深く丁寧に学ぶ中で、教育への情熱や高度な専門知識と技能をもつ実践的な指導者を目指します。また、同じ志をもった女子学生と共に学ぶことで女性としての感性をさらに磨くことができ、細やかで力強い体育の実践が可能に。学校や社会・企業が求める優れた指導者や専門家となる力を育みます。

こんな人を求めています

- より高いレベルの、もしくは幅広い種類のスポーツ技能を習得したいという強い向上心を持って、努力を惜しまない人。
- 体育・スポーツの振興に貢献したいという熱意を持ち、教師や指導者を目指す人。
- スポーツの実技だけでなく、スポーツ科学、コンピュータ、外国語などの知識も意欲的に修得し、その能力を自身の成長に繋げられる人。

学びのポイント

1

充実した体育施設を
フル活用して学べる



全天候型の陸上競技場や球技・体操競技といった種目専用体育館など施設が充実。また最新の測定評価装置を備え、スポーツ科学の面からも学修できます。

2

約8割の学生が
教員免許状を取得



中学校や高等学校の保健体育の教員を目指す人が多いのが本学の特長。教員免許状取得のための学びを通して、指導者としての資質を身に付けます。

3

専門家による丁寧かつ
ハイレベルな授業



ベテランの指導者や各分野のスペシャリストが講義や実技を担当。また日本代表として活躍する学生も多く、一緒に学ぶことでたくさんの刺激が得られます。

4

3つの専攻コースで
専門性を磨ける



3年次からは専攻コースに分かれて学びを深めます。将来を見据えた高度な専門知識と技能を身に付け、さらには指導者としての能力を養います。

4年間の成長イメージ

1 年次

本学の教育理念や基礎理論などを学び、
体育大学での学びの基盤を作る。

2 年次

理論・実技で学んできた知を活かし、
より複雑な問題に取り組む力を付ける。

3 年次

3つの専攻コースに分かれて
志望に応じたより専門的な知識を付ける。

4 年次

大学の学びの最終段階として、
より深く、実践的な内容を学び取る。

教養科目

専門に関する科目

基礎理論

基礎実技

選択領域／理論・実習

学びの核となる知識は
基礎授業できめ細かく指導

興味に応じて多分野の
学問や競技を学べる

方向性の異なる
3つの分野を選択

専攻別科目

コーチング学専攻コース

体育学専攻コース

スポーツ健康学専攻コース

ゼミナール

さらに少人数の
クラスでより手厚く

教職に関する科目

1年次の学びは…

これからの学びの基礎となる重要科目を修得。
グループ担任制で、きめ細かいサポートも受けられます。

外国語や歴史、音楽の授業で豊かな教養を育みつつ、国際人としての素養や表現力の基盤を形成していきます。また、スポーツ心理学や栄養学などさまざまな理論を学び、陸上・水泳・武道などの実技を通して基本的な動きを頭で理解しながら、スポーツを「学問」として体得していきます。

2年次の学びは…

医学、生理学、発育・発達学、法学、情報学など、
スポーツを中心に、多分野に展開する科目を受講。

1年次に修得した、スポーツの基礎理論や基礎技能を発展して学びます。さらに選択科目の運動学やコーチング論といった授業ではスポーツと人のメカニズムを学び、指導力を養えます。またスポーツ医学やスポーツ生理学の授業では、体の機能について学び、指導力や緊急事態の対応力を培います。

3年次の学びは…

より専門性の高いフィールドに踏み込んで学修。
2年次に履修した科目の発展科目にも挑戦。

希望するゼミナールに所属し、専門分野について講義と実技を通して理解を深めます。授業は少人数で行われるため、一人ひとりきめ細かい指導を受けることが可能。いずれのコースに所属しても、中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)が取得できるカリキュラム編成となっています。

4年次の学びは…

教員免許を取るために、3週間の教育実習に参加。
また自分のテーマを決めて、卒業研究に取り組みます。

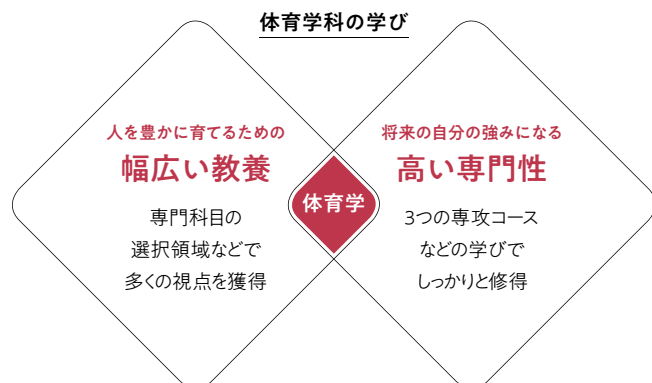
これまでの学びをさらに追究し、社会人になるための準備を整える1年です。教育実習では中学生や高校生の授業を受け持ち、ホームルームや部活の指導も体験。また卒業研究の発表会では、教員からの学術的な質問に答える試験があるなど、さまざまな場でこの4年間で培った力が試されます。

具体的な履修科目はP34～35に掲載しています

カリキュラムの考え方

体育の指導者には、「人づくり」の役割が期待されるため、
教育に関する幅広い領域の知識が必要です。
そのため本学科では、スポーツ分野を軸としつつ、
幅広い教養の学びと専門分野の学びを両立させています。

本学科での学びは、単純に運動スキルを伸ばすだけではありません。体育・スポーツ・健康など多様な科目を開設し、学校や企業など社会が求める優れた指導者や専門家になる実践力を培います。また専門科目を系統化した専攻コースを設け、身に付けたい専門性と進路に合わせて授業やコースを選択できるようにしています。体育専門の学修内容は多岐にわたるため、ときには不得意な科目が出てくることもあるかもしれません。しかし学生同士が教え合いながら学べる環境や、教員が一人ひとりにきめ細かく指導できる体制を整えているので、学生たちは常に自らの限界を超えることが可能です。



専攻コースと将来像

徹底したマンツーマン指導で 専門競技力・専門指導力を向上	コーチング学専攻コース	トップアスリートや 専門競技指導者などへ	詳しくは P30へ
教育として体育・スポーツを理解し、 運動指導の実践能力を育成	体育学専攻コース	中学校、高等学校の 保健体育の指導者などへ	詳しくは P31へ
運動・スポーツと体力や健康との 関わり方について科学的理解を深める	スポーツ健康学専攻コース	地域の健康づくりを担う トレーナーなどへ	詳しくは P32へ

コーチング学専攻コース

コースの
ねらい

徹底したマンツーマン指導で専門競技力・専門指導力を向上。

ベテランの指導者や各分野のスペシャリストから一対一で教わり、トップアスリートとして自身の運動スキルをさらに高めることができます。またそのようにハイパフォーマンスへの道筋を論理的に教わることによって専門の授業以外の場面でも、人の運動能力を引き出す力を次第に身に付けることができます。自身の競技能力も指導力も同時に高められるコースです。

Q

どんな成長を実感していますか？

初心者でも分かりやすい教え方や技術力の高い人がより上達するような指導方法を学びました。

瀧野 琉香さん
体育学部 体育学科3年
群馬県立高崎商業高等学校出身

体育学専攻コース

コースの
ねらい

教育として体育・スポーツを理解し、運動指導の実践能力を育成。

1・2年次に修得した専門技能や知識を活かし、人に指導できる力を養います。現在の学校体育で必修となっているダンスや武道、水泳などさまざまな実技を通して、体育教育の意義やスポーツの意味を理解。あなたなりの解釈ができるようになることで、子どもから高齢者まであらゆる世代の運動指導にも幅広く対応できる能力が身に付いていきます。

Q

どんな成長を実感していますか？

指導者としてスポーツの動きを説明するときに相手の目線で考える大切さに気づきました。

松本 あんずさん
体育学部 体育学科3年
東京都立武蔵村山高等学校出身

授業科目例



戦術やチームプレーを学び、勝利を目指す指導法を身に付ける。

ハンドボールコーチング論及び実習I

ゴール攻略のために6人を巧みに連携させる戦術が重要な競技。個人技はもちろんコンビネーションプレーについても理解し、強いチームをつくる指導者を目指します。



世界各国の演技を分析。団体フォーメーションを学ぶ。

新体操競技コーチング論及び実習I

新体操の動きに必要なバレエレッスンから始め、世界各国の団体演技の実例から、団体フォーメーションについても学習。世界基準の演技を指導する力を付けます。



一つひとつのステップを丁寧に教えられる指導者に。

バレーボールコーチング論及び実習I

スパイクなどの技を学んだ後は、試合形式でルールやチームでの動き方を習得。一つひとつ理解しながら段階的に身に付けることで、分かりやすく指導する力を磨きます。

授業科目例



中学校で必修の武道を分かりやすく指導する力を付ける。

武道指導方法及び実習a、b

はじめに礼法、受け身など基礎を学んでから、固め技や投げ技を習得。さらに模擬授業を繰り返し行い、初めて武道をする学生に分かりやすく伝えるコツをつかみます。



「身体」について理解を深めることで実践で活きる身体の使い方を習得。

身体学

「身体とは何か」を論理的に考える学問です。理論と、自らのスポーツ経験とを照らし合わせながら理解することで、実践で活きる身体の使い方を習得します。



中学校体育で扱う器械運動の指導案を自分で作れるように。

器械運動指導方法及び実習a、b

マット・とび箱・鉄棒・平均台運動など器械運動の基礎を習得します。さらに自分で作成した指導案をもとに授業展開を考え、模擬授業を行うことで実践力を培います。

スポーツ健康学専攻コース

コースの
ねらい

運動・スポーツと体力や健康との関わり方について科学的理解を深める。

医学や生理学などの観点からスポーツと人の体の仕組みや理論を学び、健康づくりに関する知識を深めます。授業ではさまざまな器具などを用いて正しく測定する方法を身に付けるだけでなく、運動処方やリハビリテーションなど一人ひとりに効果的な運動を指導できる能力の習得を目指すことで、医療や福祉などさまざまな分野にも活かせる力が育まれます。



どんな成長を実感していますか？

健康づくりやケガ予防など、日常生活でも役立つことを学びました。

石川 寛菜 さん

体育学部 体育学科3年
千葉県立松戸高等学校出身

授業科目例



リハビリや介護などの現場で活かせるトレーニング法を習得。

健康体力づくり指導方法及び実習I

ケガや介護の予防のためのトレーニング方法、基礎体力を高める運動について学びます。リハビリや介護など、さまざまな現場で活用できる運動指導力が身に付きます。



健康状態を判断し、必要な運動を処方できる力を身に付ける。

健康評価の理論と実習

血圧、疲労度、骨密度など、健康状態を測定する方法と結果の読み取り方を学びます。その上で、健康的な体づくりのために必要な運動を推定し、指導する力を習得します。



生活習慣病に効果的な運動療法を指導する力を習得。

医学概論

運動療法の指導を行う「健康運動指導士」に必要な知識の修得を目指し、メタボリックシンドロームや糖尿病などの生活習慣病の知識と、関連する運動の指導法を学びます。

大学／体育学部 体育学科 進路について

学校や体育施設だけでなく、幅広い進路を実現できます。

正しい知識と優れた技能を持つ指導者が求められる中学校・高等学校の保健体育の教員や、スポーツクラブ・体育施設のコーチとして多くの学生が活躍しています。一方で、仲間とコミュニケーションを取りながら目標に向かって協力し、努力することを「体を通して学んできた」人材が高く評価され、近年は4割近くの学生が一般企業へ就職。本学でも情報処理の授業や資格取得講座、インターンシップ実習などを行っており、将来を幅広く考えることができます。

主な進路

- | | |
|---------------|----------|
| ■ 公立／私立中・高等学校 | ■ 一般企業 |
| ■ 体育施設関係 | ■ 病院 |
| ■ 消防士 | ■ 大学 |
| ■ 警察官 | ■ 官公庁 など |

卒業時の成長イメージ

- 教養教育と体育学に関する専門教育によって、体育・スポーツおよび保健の視野から人間の一生における成長過程を幅広くとらえることのできる「理論的な知」と「実践的な知」を備えている。
- 体育の本質と理想を追求するとともに、その担い手である指導者の資質への理解を深めている。
- 多様化する現代社会における教育問題および社会問題を理解し、それを解き明かす探究心と、誠実に立ち向かう対応能力がある。

Message

内定者メッセージ

羽田空港サービス株式会社 内定

桑原 日向代 さん 体育学部 体育学科4年 埼玉県立狭山経済高等学校出身

好きなスポーツを通して成長できる場所です。

所属していたチアリーディング部では、副部長という立場を任されていました。部活で問題が起きたときにどのように解決するかを試行錯誤したり、チームの中で自分の意見を伝える力が成長しました。こういった経験が就職活動でも活かされたかなと思います。また、面接を受けていく中で、東女体大で身に付いた礼儀や率先して動ける力を「さすが体育大生だね」と言ってもらえることが何度かあったので、嬉しかったですね。職場では、部活のチームプレーを活かして、周りとの協力しながら仕事を進められる人になりたいです。東女体大は、好きなスポーツを通して自分が成長できる大学だと思います。



中学校教諭 内定

石山 桂子 さん 体育学部 体育学科4年 岩手県立盛岡南高等学校出身

目指す姿は、子どもたちに信頼される先生。

教育実習でハードルができなかった生徒から「できるようになった!」と言ってもらえたときの喜びから、先生を目指す決意が固まりました。これは、東女体大で4年間培ってきたコーチングの技術が活かされたのかなと思います。また、就職試験の対策では面接や小論文を教職センターの先生方にサポートしていただき、実技試験は学生同士で教え合いながら支え合っていましたね。将来は、東女体大で学んだことを活かしながら、授業における確かな指導力と人間性を両立させて、子どもたちに信頼される先生になりたいと思います。



		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
		前期	後期	前期	後期		前期	後期	前期	後期
教養科目		●藤村トヨの教育 ●国語基礎講座 ○数と思考 ○外国語コミュニケーション(英語)Ⅰ ○外国語コミュニケーション(独語)Ⅰ ○外国語コミュニケーション(仏語)Ⅰ	●キャリアデザイン ○美と芸術 ○文学と人間 ○環境と自然の保全 ○歴史と人間 ○音と芸術 ○外国語コミュニケーション(英語)Ⅱ ○外国語コミュニケーション(独語)Ⅱ ○外国語コミュニケーション(仏語)Ⅱ	○思想と人間観 ○日本国憲法 ○情報リテラシー ○生活と経済 ○社会と人間 ○英語表現Ⅰ	○女性と生活 ○英語表現Ⅱ		◎インターンシップ			
		◎ボランティア理論	◎ボランティア実習	◎海外英語文化講座(隔年開講)						
専門に関する科目	基礎理論	●生理学 ●スポーツ史 ●スポーツ原理	●スポーツ心理学Ⅰ ●スポーツ栄養学Ⅰ							
	基礎実技	●体づくり運動Ⅰa ●器械運動Ⅰa ●陸上競技Ⅰa ●ダンスⅠa ●水泳Ⅰa ●武道(柔道)	●体づくり運動Ⅰb ●器械運動Ⅰb ●陸上競技Ⅰb ●ダンスⅠb ●水泳Ⅰb ●武道(剣道)	●新体操Ⅰ ○器械運動Ⅱa ○陸上競技Ⅱa ○ダンスⅡa	●新体操Ⅱ ○器械運動Ⅱb ○陸上競技Ⅱb ○ダンスⅡb					
		●球技(バレーボール)	●球技(バスケットボール)	○球技(ソフトボール)	○球技(ハンドボール)					
	選択領域理論・実習	○運動器機能解剖	○衛生学及び公衆衛生学	○運動学 ○レジャー・レクリエーション概論 ○スポーツ生理学 ○スポーツ法学 ○発育発達論	○スポーツ医学(含む救急・看護法) ○バイオメカニクス ○野外教育論 ○情報活用(表計算ソフトの使用法) ○レクリエーションalゲーム ○コーチング論		○スポーツ栄養学Ⅱ ○体育測定・統計 ○学校保健 (含小児・精神保健、学校安全) ○スポーツ心理学Ⅱ(カウンセリング) ○コンテンポラリーダンス (含ストリートダンス) ○舞踊教育論及び実習	○スポーツ経営管理学 ○スポーツ行政学 ○学校とスポーツの安全 ○学校体育経営論 ○音楽効果論及び実習 ○民族舞踊(含バレエ) ○体育ダンス(含民俗舞踊)	○地域スポーツ経営論	○ニュースポーツ
					○トレーニング概論 ○エアロビックダンス ○体カトレーニング実習	◎アスレティックコンディショニング ◎キャンプ ◎スキー	◎海浜実習	◎カヌー ◎スノーボード	◎スポーツ健康学実習 ◎社会体育・健康産業等施設実習	◎カヌー ◎スノーボード
専門科目						○体育・スポーツ学ゼミナールⅠa ○教育学ゼミナールⅠa ○教養教育ゼミナールⅠa	○体育・スポーツ学ゼミナールⅠb ○教育学ゼミナールⅠb ○教養教育ゼミナールⅠb	○体育・スポーツ学ゼミナールⅡa ○教育学ゼミナールⅡa ○教養教育ゼミナールⅡa	○体育・スポーツ学ゼミナールⅡb ○教育学ゼミナールⅡb ○教養教育ゼミナールⅡb ○卒業研究	
教職に関する科目	○教職論	○生徒指導論(含進路指導)	○教育原理	○教育行政学 ○教育課程論 ○総合的な学習の時間の指導法		○保健体育科教育法Ⅰ ○教育心理学 ○道徳の指導法 ○教育方法 (含情報機器及び教材の活用) ○特別支援教育概論	○保健体育科教育法Ⅱ ○体育実技指導研究 ○保健指導研究 ○特別活動の指導法 ○教育相談	◎教育実習	○教職実践演習	
コーチング学 専攻コース	専攻理論					●運動技術論	●スポーツ戦術論 ●運動観察論			
	専攻実習					○新体操競技コーチング論(競技論) ○体操競技コーチング論(競技論) ○陸上競技コーチング論(競技論) ○バレーボールコーチング論(競技論) ○バスケットボールコーチング論(競技論) ○ハンドボールコーチング論(競技論) ○ソフトボールコーチング論(競技論)	○新体操競技コーチング論及び実習Ⅰ ○体操競技コーチング論及び実習Ⅰ ○陸上競技コーチング論及び実習Ⅰ ○バレーボールコーチング論及び実習Ⅰ ○バスケットボールコーチング論及び実習Ⅰ ○ハンドボールコーチング論及び実習Ⅰ ○ソフトボールコーチング論及び実習Ⅰ	○新体操競技コーチング論及び実習Ⅱ ○体操競技コーチング論及び実習Ⅱ ○陸上競技コーチング論及び実習Ⅱ ○バレーボールコーチング論及び実習Ⅱ ○バスケットボールコーチング論及び実習Ⅱ ○ハンドボールコーチング論及び実習Ⅱ ○ソフトボールコーチング論及び実習Ⅱ	○新体操競技コーチング論及び実習Ⅲ ○体操競技コーチング論及び実習Ⅲ ○陸上競技コーチング論及び実習Ⅲ ○バレーボールコーチング論及び実習Ⅲ ○バスケットボールコーチング論及び実習Ⅲ ○ハンドボールコーチング論及び実習Ⅲ ○ソフトボールコーチング論及び実習Ⅲ	
体育学 専攻コース	専攻理論					●体育科教育学	●身体学 ●スポーツ社会学			
	専攻実習					○体づくり運動指導方法及び実習	○器械運動指導方法及び実習a・b ○水泳指導方法及び実習	○陸上競技指導方法及び実習a・b ○球技指導方法及び実習a・b	○ダンス指導方法及び実習a・b ○武道指導方法及び実習a・b	
スポーツ健康学 専攻コース	専攻理論					●運動処方論 ●医学概論		●アダプテッドスポーツ論		
	専攻実習					○体力評価の理論と実習	○健康評価の理論と実習	○健康体力づくり指導方法及び実習Ⅰ ○スポーツリハビリテーション演習Ⅰ	○健康体力づくり指導方法及び実習Ⅱ ○スポーツリハビリテーション演習Ⅱ	



Q

子どもたちに好かれるのは
どういう人ですか？

市川 みうさん
保健体育学科2年
東京都立日野高等学校出身

A

どんなときでも明るく子どもたち
に向きあっていける人かな。

剣道
瀬川 剛先生



短期大学／保健体育学科

幅広い知識と専門性で人を成長させる、体育と教育のエキスパートへ

学びの概要

多岐にわたるスポーツの知識・技術や人間力を磨き、
人を成長させることができる体育と教育の専門家として活躍。

保健体育学科では、水泳やアスレティックコンディショニング、トレーニング概論といった保健体育を中心とした総合的な実技の体験学習のほか、実社会で役立つ授業など多様な選択ができる充実したカリキュラムを準備しています。授業科目のほとんどが選択科目なので、自分の将来を見据えて自由にカリキュラムを組むことが可能。スポーツ指導者を目指す人、中学校教員を目指す人…充実した施設を活用しながら幅広く特色ある科目を学ぶことで、2年後には「体育と教育のエキスパート」として学校・社会・企業で活躍する力を身に付けられます。また、さらに高度な学びを追究したいと希望する人のために、大学 体育学部 体育学科へ編入する道も開かれています。

こんな人を求めています

- 体育・スポーツに関わる教師や指導者を目指し、より高い技能を習得するために自ら目標をもって日々の学習に取り組める人。
- 短期大学での学習や習得した資格を活かして、生涯体育・スポーツのリーダーとして広く社会で活躍していきたいという意欲をもっている人。
- 大学への編入によって短期大学での学習を発展させ、体育・スポーツのより高度な知識や技能を修得することを目指す人。

学びのポイント

1

社会が求める
優れた指導者を育成



充実した授業やフレッシュマンセミナー、海浜実習を通して、実践的な指導力と将来どのような場面でも役立つ社会規範をしっかりと身に付けます。

2

スポーツの多彩な知識・
技術の修得と資格取得



未経験のスポーツも指導者としての知識・技術を修得できるカリキュラム。また2年間でも、中学校教諭免許状やスポーツ指導者などの資格が取得できます。

3

各分野の専門家による
ハイレベルな授業



多彩な分野の指導者やスペシャリストから、ハイレベルなノウハウを教わることができるので、より専門性の高い知識や技術を体得できます。

4

職場で活躍できる
実践力を習得



左記の3つのポイントを通して身に付けた人間力や実践力は、さまざまな現場や企業で高い評価をいただいております。学生は幅広い分野で活躍しています。

2年間の成長イメージ

1 年次

体育の理論と実技の基礎をしっかりと身に付け、さまざまな分野で役立つ力を培う。

教養科目

進路について考える授業もあり、早期から人間力を養える

専門に関する科目

基礎理論

幅広い分野から選択でき、さまざまな競技の技術が習得可能

基礎実技

選択領域理論

より実践的・専門的な学びで、即戦力を磨く

選択領域実習

教職に関する科目

1年次の学びは…

講義や実技でスポーツの基礎をしっかりと形成。
グループ担任制で担当教員が日々の学習をサポートします。

陸上や柔道、新体操といったさまざまな基礎実技を経験。担当教員や各分野のスペシャリストが一つひとつ丁寧に指導を行うので、初めての競技でもきちんとスキルを伸ばせます。また1年次からインターンシップにも参加でき、早い段階から将来を見据えて動くことが可能です。

2 年次

実技や実習を重ねて高度な技術を習得し、自分の目指す進路へ進む力を身に付ける。

2年次の学びは…

専門的な学びを深めて良き指導者となる土台を形成。また教育実習や社会体育施設実習に参加し、進路を定めます。

武道・球技といった専門的な実技や、運動学・施設の経営管理といった専門領域の理論など、将来目指す姿に合わせて履修ができます。また教育実習、社会体育施設実習、就職対策講座などそれぞれの進路に対応した授業や手厚いサポートも実施。納得した進路を歩むことができます。

具体的な履修科目はP41に掲載しています

資格取得サポート

2年間で教員免許状やスポーツ指導員などの資格が取得可能。チャレンジすることで将来の幅が広がります。

- 中学校教諭二種免許状(保健体育)
- スポーツリーダー[スポーツ指導基礎資格](日本スポーツ協会公認資格)
- ジュニアスポーツ指導員[フィットネス資格](日本スポーツ協会公認資格)
- 障がい者スポーツ指導員(初級)(日本障がい者スポーツ協会公認資格)
- 健康運動実践指導者(健康・体力づくり事業財団公認資格)
- 秘書検定
- 赤十字救急法救急員認定証(日本赤十字社)
- 赤十字水上安全法救助員認定証(日本赤十字社)

詳しくは p.60～61をご覧ください。

編入学について

さらに学びを深めたい学生は、2年次に大学 体育学部 体育学科への編入学試験を受けることができます。また、編入学することにより大学の免許・資格にチャレンジすることも可能です。
※編入学試験には、内部推薦制度があります。

大学 体育学部3年次編入(編入学後2年で卒業可)

- 中学校教諭一種免許状(保健体育)
- 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

学科の
ねらい

幅広いカリキュラムで、体育教育のエキスパートを育成。

多様な選択ができるカリキュラムと充実した施設を活用することで、2年間で優れた指導者を育成します。1年次では教養科目で人間力を磨き、また講義や実習でさまざまなスポーツについて理解を深めます。2年次には専門的な学びと実技を通して、人に教えられる力を培っていきます。2年間の学びを通して、さまざまな人にスポーツを指導できる魅力的な人になることができます。

Q

どんな成長を実感していますか？

たくさんの人に出会って、
考え方の幅が広がりました。

増井 あみ さん

保健体育学科2年
静岡県 浜松聖星高等学校出身

授業科目例



競技種目の技術だけでなく
指導者として必要な力を考える。

陸上競技a、b

さまざまな競技種目の特性を理解し、練習方法を学びます。模擬授業では指導者、生徒双方の役を経験することで、生徒にとって本当に分かりやすい指導の仕方を身に付けます。



ボールやリボンを使って
楽しみながら身体感覚を養う。

新体操a、b

正しい歩き方やステップを学び、自分の身体を自由に動かす方法を習得。身体全体で表現する喜びを感じることで、子どもたちにもその楽しさを伝えられる指導者を目指します。



学校で武道を学ぶ意味を
理解して教育できる指導者に。

武道(柔道)

技の習得はもちろん、武道を学校教育に取り入れる意義についても理解を深めます。武道を通して、子どもの精神力や人間力の成長も促すことのできる指導者を目指します。

学校やスポーツクラブの体育指導者として多くの卒業生が活躍しています。

教員免許状を取得して教育界に進むほか、スポーツジムなどの民間施設や地域の公的なスポーツクラブで社会体育指導者として活躍しています。また、本学で身に付けた人間力が評価されて一般企業に就職する学生も多く存在。一方で約 4 割の学生が大学に編入してさらに理論を深め、スポーツ選手としての活動を続けるなど、スポーツを軸にしてさまざまな分野への道が開かれています。

主な進路

- フィットネス業界
- スポーツインストラクター
- スポーツ用品メーカー
- 教育支援業界
- 一般企業
- 医療福祉関連業界
- 大学編入
- 消防士
- 警察官
- など

卒業時の成長イメージ

- 教養教育と体育学に関する専門教育によって、体育・スポーツおよび保健の視野から人間の一生における成長過程を幅広くとらえることのできる「理論的な知」と「実践的な知」を備えている。
- 体育の本質と理想を追求するとともに、その担い手である指導者の資質への理解を深めている。
- 多様化する現代社会における教育問題および社会問題を理解し、それを解き明かす探究心と、誠実に立ち向かう対応能力がある。

Message

編入者・内定者メッセージ

東京女子体育大学 編入学

箱崎 乃映 さん 保健体育学科2年 大阪府 四天王寺高等学校出身

日本一を目指して日々奮闘中。

短大で2年間学んでも、部活のハンドボールをもっと続けたいと思ったので大学へ編入。将来は地元の実業団で活躍するか、体育教師になりたいと考えています。今はハンドボールへの気持ちが強いので、編入後は残りの2年間で日本一を目指して奮闘中です。東女体大は専門分野の先生に教えていただけるので、技術を磨きながら楽しく学べる大学だと思います。



株式会社 BEST HERBS BEST STYLE FITNESS 内定

大滝 茉奈 さん 保健体育学科2年 千葉県 植草学園大学附属高等学校出身

授業での経験が仕事への自信に繋がります。

高校生のときからスポーツジムのトレーナーを目指して、東女体大に入学。就職活動はキャリア支援課の方にもサポートをもらうことで、夢だったトレーナーになることができました。また、トレーナーを目指す私にとって「レクリエーション実習」という授業で学んだことは、人にスポーツを教えることへの自信を持つきっかけになったと思います。この授業での経験を仕事の中でも活かして、たくさんの人にスポーツの楽しさを伝えられるトレーナーになりたいです。



		1 年次		2 年次	
		前期	後期	前期	後期
教養科目		● 藤村トヨの教育 ● キャリアデザイン ● 国語基礎講座 ○ 日本国憲法 ○ 情報リテラシー ○ 環境と自然の保全 ○ 音と芸術 ○ 外国語コミュニケーション(英語)Ⅰ	○ 歴史と人間		○ 思想と人間観 ○ 社会と人間 ○ 英語表現
		○ インターンシップ(1年)	○ 海外英語文化講座(隔年開講)	○ ボランティア理論	○ ボランティア実習
専門に関する科目	基礎理論	● スポーツ原理 ● 生理学(含 運動生理学) ● スポーツ史	● スポーツ栄養学	● スポーツ心理学	
	基礎実技	○ 体づくり運動a ○ 器械運動a ○ 陸上競技a ○ 球技(バスケットボール) ○ ダンスa	○ 体づくり運動b ○ 器械運動b ○ 陸上競技b ○ 球技(バレーボール) ○ ダンスb ○ エアロビックダンス	○ 新体操a ○ 球技(ハンドボール)	○ 新体操b ○ 武道(剣道) ○ 武道(柔道) ○ 球技(ソフトボール)
		● 水泳(含海浜実習)			
	選択領域理論	○ 学校保健(含小児保健・精神保健、学校安全) ○ スポーツ行政学	○ スポーツ医学(含救急法) ○ 学校とスポーツの安全 ○ アスレティックコンディショニング ○ スポーツ生理学 ○ バイオメカニクス	○ 衛生学及び公衆衛生学 ○ トレーニング概論 ○ スポーツ経営管理学 ○ 運動処方論 ○ 学校体育経営論 ○ レジャー・レクリエーション概論 ○ スポーツ法学 ○ 体育測定・統計 ○ アダプテッドスポーツ論	○ 運動学(含運動方法) ○ 施設の経営管理 ○ スポーツ社会学 ○ コーチング論
	選択実習	○ キャンプ	○ スキー	○ 体カトレーニング実習	○ レクリエーション実習(含 ニュースポーツ) ○ 社会体育施設実習
○ スノーボード					
教職に関する科目		○ 保健体育科教育法Ⅰ	○ 教職論 ○ 教育原理(含学校の制度と経営) ○ 教育心理学 ○ 保健体育科教育法Ⅱ ○ 道徳の指導法 ○ 教育方法(含情報機器及び教材の活用)	○ 教育課程論 ○ 教育相談 ○ 特別支援教育概論 ○ 特別活動の指導法 ○ 総合的な学習の時間の指導法 ○ 生徒指導論(含進路指導)	○ 教職実践演習
				○ 教育実習	

● 必修 ○ 選択 ○ 集中授業(学内・学外) 下線は、教育職員免許状取得希望者の必修科目

Q

どうしたら子どもの能力を伸ばせる保育者になれるですか？

岩脇 愛さん
児童教育学科1年
埼玉県 秋草学園高等学校出身

保育内容
土井 晶子先生

A

子どもたち一人ひとりの発達を理解することが大切だと思います。

短期大学／児童教育学科

将来を見据えて育てられる、乳幼児・児童教育のエキスパートへ

学びの概要

豊かな感性と現場での確かな実践力を養い、乳幼児や児童の教育を支え、育て上げる人材として活躍できます。

コース制を導入して希望の進路に合わせた指導を行っています。教養科目によって豊かな教養の基盤を養い、教科・教職・保育に関する科目から、子どもたちの感性を豊かに育てるための確かな実践力を培います。特に、体育短期大学の特性を活かした専門的な体育教育や「動き・音・もの」づくりについて深く学べる授業、創作オペレッタの制作過程を通して、個の能力を高め、周囲を見渡せる指導者としての力を付けます。さらに高度な学びを求める学生のために保健体育学科のカリキュラムとの互換性を高くして、東京女子体育大学への編入も可能にしています。

こんな人を求めています

- スポーツを愛し、子どもを愛する人。
- 体育、スポーツ、音楽、美術などの知識や技能を修得して自分の個性を伸ばし、豊かな人間性を身に付けたいと思っている人。
- 大学への編入によって短期大学での学習を発展させ、教育、体育・スポーツのより高度な知識や技能を修得することを目指す人。

学びのポイント

1

進路に合わせた2つのコース



子どもの能力を伸ばすことができる保育者・教育者を育てるために、2コース制を導入。それぞれの現場に即した実践的な学びを行い、即戦力を養います。

2

体育短期大学ならではのカリキュラム



幼少期に必要なとされる、音楽や体育などの早期教育を専門的に学ぶことができます。特に「幼児体育」など特色ある授業を通し、優れた指導力を培います。

3

「動き」「音」「もの」の創造を実践



子どもに楽しさや喜びを伝え、豊かな感性を育てられるよう、「動き・音・もの」づくりをテーマに、心と体で実感できる教育活動を行っています。

4

将来の幅を広げる、取得可能な資格



幼保コースは幼稚園教諭免許・保育士資格の両方の取得ができ、幼小コースは幼稚園・小学校の両方の教員免許状が取得可能。さまざまな現場で活躍できます。

2年間の成長イメージ

1 年次

乳幼児・児童の保育・教育の基礎理論などを学び、現場で指導できる力を付ける。

2 年次

1年次の学びをさらに発展させ、社会に役立つ実践力を磨き上げる。

教養科目

学びの核となる知識は授業できめ細かく指導

専門科目

運動や音楽、図工を一通り学び、感性を磨く

各資格の取得に向け、より専門的に学ぶ

1年次の学びは…

講義と実技で専門性を磨き、また早期からの実習で将来のイメージをつかみます。

保育者・教育者の業務や役割を学ぶだけでなく、実際に自分で手や体を動かしながら発達段階に合わせた指導方法を身に付けたり、情操教育に必要な創造力を養います。さらに保育所や小学校へ訪問し、先生がどのように子どもたちに関わっているかを深く理解。自分の進路を考える機会にもなります。

2年次の学びは…

学外実習を重ねることで個の力を付け、創作オペレッタで集団の力を付けます。

資格取得に向けてより実践的な学びに。学外実習では実際に子どもと触れ合う中で失敗や成功を重ね、大きく成長できます。また両コース全員で創り上げる舞台「創作オペレッタ」では、練習から本番までさまざまな場面で2年間の学びを実践する機会が豊富。仲間と協力しながら成功へと導きます。

具体的な履修科目はP49に掲載しています

資格取得サポート

保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の資格が取得可能。チャレンジすることで多彩なキャリアが広がります。

幼保コース

- 幼稚園教諭二種免許状
- 保育士資格

幼小コース

- 幼稚園教諭二種免許状
- 小学校教諭二種免許状

編入学について

さらに学びを深めたい学生は、2年次に編入学試験を受けることができます。編入により新たな免許・資格に挑戦することも可能です。
※編入学試験には、内部推薦制度があります。

児童教育学科在学時 短期大学保健体育学科の授業科目の単位を修得

大学 体育学部3年次編入学(編入学後2年で卒業可)

- 中学校教諭一種免許状(保健体育)
- 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

詳しくは p.60～61をご覧ください。

幼保コース

コースの
ねらい

実践を重ね、保育者・教育者どちらの道にも進むことができる力を培う。

子どもが社会の中で生活できる力を身に付けられるよう保護者の代わりとなって“生活の援助”を行う保育者。子どもに言葉や数といった知識や生活する上でのルールを教えて“社会的な成長を援助”する教育者。そのどちらにもなれる力を、専門性の高い講義や演習、実習を通して育みます。将来は保育者・教育者両方の視点をもって、子どもに関わることができます。

Q

どんな成長を実感していますか？

実践的な授業の中で
専門知識やピアノの技術が
成長しました。

島崎 友香 さん

児童教育学科1年
東京都 貞静学園高等学校出身

大久保 明日香 さん

児童教育学科1年
埼玉県 秋草学園高等学校出身

授業科目例



**自作の教材を使った
子どもとの関わり方を学ぶ。**

子どもの造形と遊び

絵本や紙芝居など、子どもの感性を豊かに育てるものづくりを学びます。実際に作ったものを子どもに披露する機会もあり、作るだけでなく活用の仕方にも身に付けられます。



**子どもが楽しく一緒に歌える
ピアノ奏法を習得。**

音楽BI

現場で活かせる基本的なピアノ奏法を習得。楽譜の読み方など基礎知識を理解した上で、子どもに視線を送りながら、一緒に弾き歌いできるまでの力を身に付けます。



**子どもの成長において重要な
乳幼児期の「言葉」を理解する。**

保育内容(言葉)指導法

乳幼児が自分の伝えたいことを言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育てるために必要な「乳幼児期の言葉」についての知識・技術を身に付けます。

幼小コース

コースの
ねらい

幼児教育・児童教育を縦断的に学び、各年代に必要な教育の知識を養う。

3歳から12歳という、重要な時期における教育について学びます。人がどのように発達し、成長していくのか講義や実習を通して理解することによって、各年代にどのように接する必要があるのか、どのような学びが必要なのか深く考える力を付けます。また、幼稚園から小学校への連続した学びについて知ることで、先を見据えた教育を行うことができます。



どんな成長を実感していますか？

子どもたちの成長のために
まずは肯定することが
大事だと気づきました。

渡辺 智子 さん
児童教育学科1年
福島県立磐城桜が丘高等学校出身

授業科目例



子どもの表現力を引き出す
ものづくりを実践。

図画工作I

子どもの柔軟な発想を養う、絵の具や粘土などを使ったものづくりを学びます。描く・切る・付ける遊びを繰り返し実践し、子どもが楽しく取り組める指導法を考えます。



年齢に合わせた運動遊びと、
その正しい指導法を理解する。

子どもの運動a

幼児の心身の発達と行動を理解し、年齢に応じた運動遊びを学びます。また先生の態度が子どもにどんな影響を与えるかを理解し、表情・姿勢・立ち振る舞いも実践練習します。



生活科指導の基礎知識と
具体的な指導方法を学ぶ。

生活科教育法I

子どもたち自身に、学校や地域、家族との関わり方を考えさせる生活科指導の基礎知識を学びます。動植物の飼育・栽培などさまざまな体験を通じた教育法を習得します。

TOPICS

みんなで創り上げる、創作オペレッタ

児童教育学科では2年次に、歌・音楽・ダンスの要素を取り入れたミュージカル「創作オペレッタ」に取り組みます。2年間で学んだ「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」の知識や技術を最大限に活かし、脚本、作詞・作曲、振り付け、衣装・小道具製作、照明プランまで、すべて自分たちの力で創り上げる、学びの集大成の場となっています。



上演までのプロセスが、
現場の実践力を磨く。

チームワークで、最高の舞台を

幼保コース・幼小コース合同で行う「創作オペレッタ」。全体を2つのクラスに分け、協力しながら学生たちが自身の力で準備を進めます。どの工程も容易ではありません。例えば学生一人ひとりの思い描くイメージが異なるため、意見がぶつかることも。そこで納得いくまで何度も話し合ったり、新しいアイデアを出したりと学生たちはアクションを起こすように。次第に「観客に伝わる表現とは何か」を考え、行動できるようになっていきます。

舞台経験が、社会で活躍する力に

準備を始めてから約1年後、外部ホールで観客が見つめる中、本番を迎えます。学生たちは緊張しつつも、仲間との日々を振り返りながら最高のパフォーマンスを披露します。観客の笑顔を見たときの達成感は、一生ものの経験になります。「創作オペレッタ」を通して学生たちは、全員で一つのことをやり遂げたという自信はもちろん、子どもに伝えるための表現力や、仲間の気持ちを考えて助け合う協調性、自分の役割を自発的に考え行動に移せる自主性を身に付けます。これらはすべて社会で活躍するために必要な力。この経験を胸に、学生たちは社会へと旅立ちます。



ABクラス／きみの歌声をきかせて



Cクラス／気持ちをひとつに

本番までの道のり

授業中だけでなく、空き時間や放課後にも全員で集まり、1年かけてさまざまな準備を行います。



テーマやストーリー、登場人物の設定などを意見を出し合って決めます。一人ひとり異なる視点を活かすことで、より魅力的な劇を創り込んでいきます。



衣装や小道具もすべて手作り。思い描く世界観をきちんと表現して子どもたちに伝えられるよう、授業や実習での学びを最大限に活かします。



「このシーンは、どういう歌詞やメロディなら、観客に楽しく伝わるかな？」など、自分たちで考えて作詞・作曲。豊かな表現力が磨かれます。



本番が近づくと、衣装を着て通し稽古をします。細かい動きやセリフなどを本番直前まで何度も見直し、ブラッシュアップします。

短期大学／児童教育学科 進路について

保育者・教育者として就職する以外にも、多彩なキャリアが広がっています。

毎年、体育短期大学独自のカリキュラムで培われた指導力が高く評価され、幼稚園教諭志望者の幼稚園就職率は100%を誇っています。近年は、体育大学生ならではの礼儀正しさやバイタリティーへの評価が高まり、一般企業などのさまざまな分野で活躍も。また大学体育学部へ編入して、幼稚園教諭・小学校教諭の免許に加えて、中・高教諭一種免許状を取得するという道も開かれています。

卒業時の成長イメージ

- 教養教育と児童教育・保育に関する専門教育によって、「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」の視野から子どもの成長過程を幅広くとらえ、子どもの感性を豊かに育てることのできる「理論的な知」と「実践的な知」を備えている。
- 児童教育の本質と理想を追求するとともに、その担い手である指導者の資質への理解を深めている。
- 多様化する現代社会における教育問題および社会問題を理解し、それを解き明かす探究心と、誠実に立ち向かう対応能力がある。

Message

内定者メッセージ

小学校教諭 内定

小泉 恵理 さん 児童教育学科2年 埼玉県立秩父高等学校出身

たくさんのサポートで、最後まで頑張れた。

小学校の先生を目指す上で特に苦手意識があった小論文。教職センターで何度も先生に添削してもらいました。初めは上手く説明できずに悔しい思いもしましたが、先生方から現場で実際に経験した話を聞くことで自分の考えや知識を広げられたので、面接や小論文にも役立ちました。そういった先生方の厚いサポートのおかげで、挫けずに最後まで頑張れたと思います。現場では子どもたちの気持ちを受け止めて、きちんと考えられる先生を目指します。



中央幼稚園 内定

坂本 真優 さん 児童教育学科2年 神奈川県立弥栄高等学校出身

運動を活かした遊びを学べる。

先生を目指す中で小さい頃から好きだった運動を活かせる場所で学びたいと思い、東女体大に入学しました。授業では、実際にボールや縄跳びなどを使って子どもたちができる動きを学べたので楽しかったです。就職活動では、キャリア支援センターの方による求人紹介や書類の添削といったサポートをしていただきました。東女体大は先生との距離も近いので、分からないことを尋ねやすく親身になってサポートしていただけるのが魅力だと思います。



短期大学／児童教育学科 カリキュラムマップ

※変更の可能性もあります。

		1 年次		2 年次	
		前期	後期	前期	後期
教養科目	基礎演習	●藤村トヨの教育 ●キャリアデザイン	●国語基礎講座		
	教養	○地域社会とボランティア ○自然科学入門 ●野外活動演習		○日本国憲法	○児童と文学 ○思想と人間観 ○社会と人間
	語学・情報	●情報機器演習I	○情報機器演習II	●外国語コミュニケーション(英語)I	○外国語コミュニケーション(英語)II
	体育				●体育理論 ●体育実技(含水泳)
	教科	●音楽A ○音楽BI	○音楽BII	○音楽BIII	○音楽BIV ○リズム遊び(含リミック)
	基礎理論	○子どもと健康 ○子どもと環境 ○子どもと人間関係 ○子どもと表現 ○子どもの身体表現a	●教育原理(含学校の制度と経営) ○保育原理 ○子どもと表現 ○社会福祉	○子どもの運動a ○子どもの運動b ○保育者・教師論 ○子ども家庭福祉 ○児童福祉施設研究	○子どもの身体表現b ○子どもの造形と遊び ○子どもの野外活動 ○社会的養護I
	対象理解		●発達心理学 ○子どもの保健	○こども学 ○幼児理解	○子ども身体学 ○子どもの食と栄養
	総論				○保育・教育課程論 ○保育内容総論
	教育内容指導法		○保育内容(健康)指導法 ○保育内容(言葉)指導法 ○保育内容(身体表現)指導法	○保育内容(人間関係)指導法 ○保育内容(環境)指導法 ○保育内容(音楽表現)指導法 ○保育内容(造形表現)指導法	
	内容・方法各論	○障害児保育I(含特別支援教育)	○教育方法(含情報機器及び教材活用) ○障害児保育II(含特別支援教育)	○乳児保育I ○子どもの健康と安全 ○特別支援教育概論	○乳児保育II ○社会的養護II ○子育て支援
専門科目	総合演習				○保育・教職(幼稚園)実践演習
	実習	○教育実習(幼稚園)I ○教育実習(幼稚園)III ○保育実習指導I	○教育実習(幼稚園)I ○教育実習(幼稚園)II ○保育実習指導I ○保育実習I(保育所) ○保育実習I(施設)	○教育実習(幼稚園)II ○教育実習(幼稚園)IV ○保育実習指導II ○保育実習指導III	
	基礎演習	●藤村トヨの教育 ●キャリアデザイン	●国語基礎講座		
	教養	○地域社会とボランティア ○自然科学入門 ●野外活動演習		○日本国憲法	○児童と文学 ○思想と人間観 ○社会と人間
	語学・情報	●情報機器演習I	○情報機器演習II	●外国語コミュニケーション(英語)I	○外国語コミュニケーション(英語)II
	体育				●体育理論 ●体育実技(含水泳)
	教科	○国語(含書写) ○社会 ○算数 ●音楽A ○音楽BI ○図画工作I	○子どもと健康 ○子どもと環境 ○子どもと人間関係 ○子どもと表現 ○子どもの身体表現a	○理科 ○小学校英語 ○音楽BIII ○体育II	○家庭 ○音楽BIV ○リズム遊び(含リミック)
	基礎理論	●教育原理(含学校の制度と経営)	○教師論 ○保育者・教師論		
	対象理解		●発達心理学	○幼児理解	○子どもの身体学
	総論				○教育課程論 ○保育・教育課程論
幼小コース	教育内容指導法	○体育科教育法I	○国語科教育法I ○社会科教育法I ○算数科教育法I ○理科教育法I ○音楽科教育法I ○図画工作科教育法I ○保育内容(健康)指導法 ○保育内容(言葉)指導法 ○保育内容(身体表現)指導法	○国語科教育法II ○算数科教育法II ○理科教育法II ○生活科教育法I ○図画工作科教育法II ○体育科教育法II ○保育内容(人間関係)指導法 ○保育内容(環境)指導法 ○保育内容(音楽表現)指導法 ○保育内容(造形表現)指導法 ○特別活動の指導法 ○総合的な学習の時間の指導法	○社会科教育法II ○音楽科教育法II ○家庭科教育法I ○小学校英語教育法I ○道徳の指導法
	内容・方法各論		○教育方法(含情報機器及び教材活用)	○特別支援教育概論 ○教育相談	○レクリエーション演習 ○生徒指導論(含進路指導)
	総合演習				○教職実践演習 ○保育・教職(幼稚園)実践演習
	実習	○教育実習(幼稚園)I ○教育実習(幼稚園)III	○教育実習(幼稚園)I ○教育実習(幼稚園)II	○教育実習(小) ○教育実習(幼稚園)II ○教育実習(幼稚園)IV	

●卒業に必要な必修科目 ○選択 ◎集中授業(学内・学外)

Field Trip
学 外 学 習

教室の外だからこそ、学べることがある。
仲間と一つの目標に向かう経験が、実社会で必要な連携力を育むきっかけに。

東女体大の学びの場は、キャンパスの中だけではありません。山、海、川、街、そして海外へも飛び出して、さまざまなスポーツや課題に挑戦しながら学ぶたくさんの機会があります。現場で仲間と力を合わせる経験から、きっと多くのものが得られるでしょう。



海外英語・文化講座

大学 短大／保体 短大／児教

オーストラリアで英語学習をしながら、現地施設でスポーツを学ぶ講座です。英語で指導を受けたり、仲間たちと英語で会話しながらスポーツを楽しむ中で、自然に生きた英語が身に付きます。言語習得だけでなく現地の人とのコミュニケーションを実践することで国際的な視野を広げます。

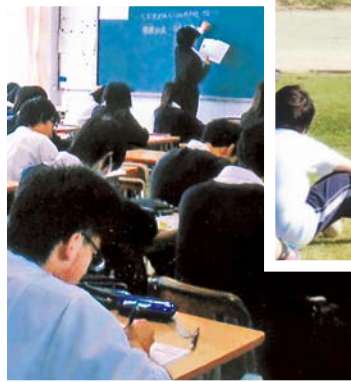


介護等体験

[教員免許状取得希望者]

大学 短大／保体 短大／児教

小学校、中学校の教員免許状取得を目指す人は在学中に介護等体験を行わなければなりません。特別支援学校や社会福祉施設などで、計7日間仕事を体験し、教員としての視野を広げます。大学体育学部体育学科は2年次に、短期大学保健体育学科と児童教育学科は1年次に行います。



教育実習

[教員免許状取得希望者]

大学 短大／保体 短大／児教

教員免許状を取得するための必須要件である教育実習。実習先の学校に赴き、大学で学んだ知識や技能を用いて、教育活動を体験します。実際の教育現場で指導を実践することで、自分の課題に気づき、新たな目標を得られる貴重な機会です。



カヌー

大学

アウトドアスポーツとして人気が高いカヌーを体験します。プールでカヌーの操作方法を習得後、都内の河川へ行き、実際の波の上でカヌーツーリングを楽しみます。仲間との競争や、水上の景色や空気など、カヌーならではの爽快感が味わえる講座です。



スキー

大学 短大／保体

新潟県妙高高原のゲレンデで4泊5日をかけて行います。スキーを基礎から学び動作を習得した後、斜面コースの滑走に挑戦。スポーツとしてスキーを楽しむだけでなく、雪山や天候の知識も深めます。(公財)全日本スキー連盟公認検定の受講も可能。

海浜実習

大学 短大／保体

静岡県土肥海水浴場で行う4泊5日の実習です。水泳運動能力の鍛錬や、水難救助方法の習得、海の自然環境の理解を深めることなどを目的としています。また、集団宿泊生活を通し、周りと協力する力や自発的に行動する力を養います。



野外活動演習

短大／児教

静岡県国立中央青少年交流の家で4泊5日をかけて実施。普段とは異なるテント生活の中で野外炊飯、レクリエーション、自然観察などを通して野外活動の楽しさを学びます。この実体験から児童や生徒に野外活動の楽しさや自然の面白さを教える指導力を養います。



キャンプ

大学 短大／保体

長野県戸隠高原にて、キャンプや登山の基礎的な知識・技術を習得する実習を行います。山間部における集団行動の注意点や、野外での寝床・食事の準備方法などが習得でき、指導者として山間部へ児童・生徒を引率する際の指導方法なども学べます。



スノーボード

大学 短大／保体

スノーボードの知識や技術を習得する実習です。新潟県妙高高原を訪れ、4泊5日をかけて仲間とともに上達を目指します。基礎から学ぶことができるため初心者から参加でき、上級者はさらなる技術向上が見込めます。

学外の学びをさらに広げるボランティア活動

小学校でのボランティア活動、
地域のお祭り参加など、活動はさまざま。
興味のあるプログラムに参加できます。

ボランティア活動は、大学生活では出会えない多くの人との関わり、視野を広げる機会です。本学では学生のボランティア活動を積極的に推進するためにボランティア概論、高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉のボランティア講座を開講し、学生への情報発信、ボランティア派遣なども行っています。講座・活動は、単位としても認定され修了証を発行しています。



新体操競技部、チアリーディング部、ストリートダンス部など多くのクラブが地域のイベントで演技を披露しています。



ボランティア講座では、車椅子バスケットボールなどを体験し障がい者スポーツについて理解を深めます。



立川市や国立市と連携し、イベントや大会に教員や学生、本学のクラブなどを派遣しています。



地域のスポーツイベントで体力測定を実施するなど、体育大学ならではの特色を活かしたボランティア活動も。

ボランティア活動を支える地域交流センターの取り組み

本学の地域交流センターでは、ボランティア講座の開講やボランティア活動の紹介を行い、学生の積極的なボランティア活動をサポートするだけでなく、地域の方に向けた公開講座の実施を通して、活気に満ちた地域コミュニティづくりに貢献しています

● ジュニア・ユースクラブ／定期レッスン

体育大学の特性を活かし、地域の子ども達を対象に講座を開講しています。ジュニアクラブでは新体操、ヒップホップ、サッカーを学ぶことができます。



新体操クラブ

● 公開講座

幼児から高齢者まで幅広い年齢の地域の方々が楽しみながら参加できる公開講座を無料で開講しています。



高校生ソフトボール

あなたに “伝えたいこと”がある。

東女体大で学生の皆さんを指導する教員は、それぞれが体育・スポーツ・教育分野のエキスパート。これまでの学びと経験の中で身に付けたことを一人の人間として全力であなたに指導していきます。その教える熱意こそ、本学の学びの価値。あなたも各学科の教員メッセージから感じてください。

01 Message

道徳
小林 福太郎 教授

教員を目指す上で、学生の皆さんには社会に貢献できる資質や能力を身に付けてほしいです。そのために、学生たち自身で考え、思考力を高めていくことや主体的に取り組める授業を心掛けています。例えば、実際に今の学校教育で起きていることをゲストティーチャーに講義していただき、その後にクラスの中で協議することもあります。社会に出れば、いろいろな立場や考え方の人と接することになるでしょう。そのときに、違いを認め合い、お互いプラスにしていける指導者を目指してください。そのためにも、さまざまな考え方をを持った方に入学していただき、お互いが学び合える教室になることを期待しています。

違いを認め合い、
お互いを
プラスにできる指導者へ

02 Message

新体操競技
小野田 桂子 准教授

私の受け持つ「体づくり運動」の授業では、実技力の向上はもちろんですが、運動の苦手な子どもにも体育の楽しさを伝えられる教員の育成を目指しています。そのために、授業では体の動きや繋がりを細かく伝えることを心掛けています。また、体育は人と一緒に行う科目なのでコミュニケーションの取り方も大切。学生の皆さんには、授業を通してさまざまな人を認められる豊かな人間性を身に付けてほしいですね。将来は、体育の指導者として情熱を持って現場に出てほしいと思っています。その情熱がそれぞれの個性に変わり、きっと子どもたちにも思いが伝わるでしょう。

情熱を持った
指導者として、
現場で活躍してほしい



03 Message

ソフトボール
佐藤 理恵 准教授

社会に出ると自分一人で仕事を進めなければいけない場面があります。そうしたときに、しっかりと自分の意図を持って行動できる人になってほしいですね。例えば、私が担当しているソフトボールの授業では、アウトを取りやすい場所はどこなのかを瞬時に判断しないといけません。そのときに周囲の声で迷うことなく、自分自身の考えでアウトを取りにくい力を身に付けることで、自己の成長に繋がればいいと思います。一方で、ソフトボールは集団で行うスポーツですから、チーム全員が役割を持って動いていることを授業でも伝えたいと思っています。共同作業を通じて、人と協力する心を身に付けてあげたいですね。

ソフトボールを通じて、
自己を持った大人を目指す



04

Message

先生として
働き続ける力を
身に付ける

体育科教育

末永 祐介 准教授

私の授業は「先生として働き続ける力」を学びます。そのために、私自身が模範となり、教師を目指す学生に「教師とはどうあるべきか」や「指導はどのように行うべきか」を伝えることを心掛けています。将来は、運動の得意不得意に関わらず、誰もが楽しめる体育の授業を作ることができ、どのような環境でも与えられたタスクをしっかりとこなせる「教育のプロ」になってほしいと思います。私の研究室では、学校現場にたくさん入る機会があるため、自分が教員になったときにどのようなことが起こるのかについてシミュレーションすることができます。また、実際に教壇に立つ先生方と接することも多いので、教師という職業について実践的に学ぶことができます。ぜひ本学に入学し、一緒に体育の授業について考えてみませんか。



07

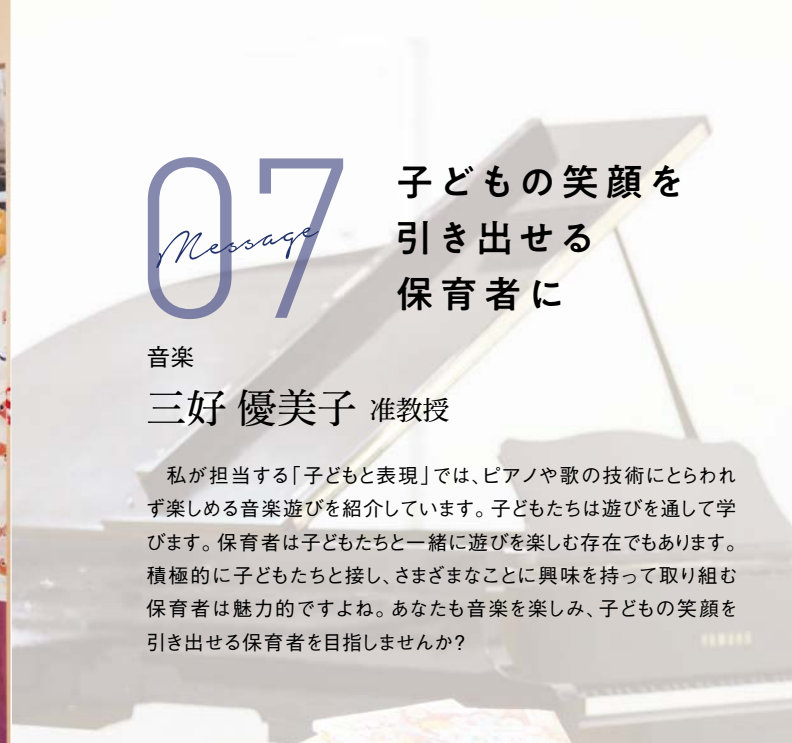
Message

子どもの笑顔を
引き出せる
保育者に

音楽

三好 優美子 准教授

私が担当する「子どもと表現」では、ピアノや歌の技術にとらわれず楽しめる音楽遊びを紹介しています。子どもたちは遊びを通して学びます。保育者は子どもたちと一緒に遊びを楽しむ存在でもあります。積極的に子どもたちと接し、さまざまなことに興味を持って取り組む保育者は魅力的ですね。あなたも音楽を楽しみ、子どもの笑顔を引き出せる保育者を目指しませんか？



教員からのメッセージ



05

Message

スポーツの歴史を
知ることは、社会を
見つめる力を育む

体育史

藤坂 由美子 准教授

人々の娯楽や楽しみで発祥したスポーツは、さまざまな教育や健康に貢献してきた歴史を持っています。私が受け持つ「スポーツ史」の授業では、そういった歴史の中で体育やスポーツが社会的にどのような役割を持っていたのかを学びます。当時のスポーツや体育が現在とは違った価値を持っていたことを理解してもらえると嬉しいです。授業を通じて、「こんな将来が訪れるだろう」という、この先の社会を見つめる目を身に付けてください。これは、学生の皆さんがこれからどのようにスポーツや体育と関わっていくのかを考える一つの手掛かりになるでしょう。



08

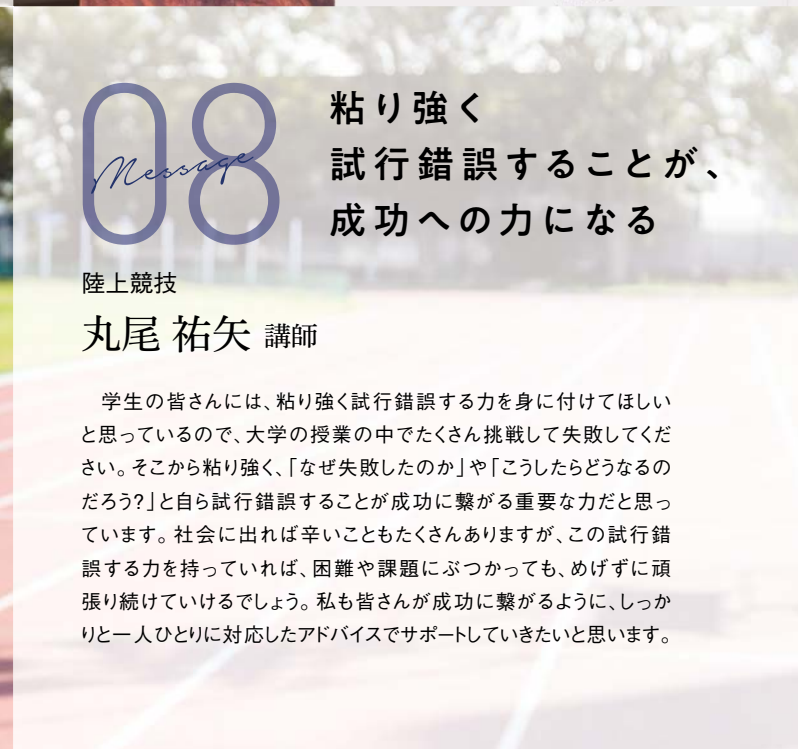
Message

粘り強く
試行錯誤することが、
成功への力になる

陸上競技

丸尾 祐矢 講師

学生の皆さんには、粘り強く試行錯誤する力を身に付けてほしいと思っているので、大学の授業の中でたくさん挑戦して失敗してください。そこから粘り強く、「なぜ失敗したのか」や「こうしたらどうなるのだろう？」と自ら試行錯誤することが成功に繋がる重要な力だと思っています。社会に出れば辛いこともたくさんありますが、この試行錯誤する力を持っていれば、困難や課題にぶつかっても、めげずに頑張りが続いているでしょう。私も皆さんが成功に繋がるように、しっかりと一人ひとりに対応したアドバイスでサポートしていきたいと思っています。



06

Message

大切なことは、
相手のことを理解しながら
自分の考えも伝える力

体育原理

早瀬 健介 教授

学生には言われたことや聞いたことをそのまま鵜呑みすることなく、自分自身の考えを主張することのできる人間へと成長してほしいと考えています。そのため授業では、スポーツに関する記事を読んだ上で小グループ(集団)に分かれて考えをまとめることや、自身の意見を述べて(発表)もらうことがあります。コミュニケーションは一方通行では成り立ちません。異なる意見・考えを持った人に会ったときでも、相手の考えを理解・受け止めてから自らの想いを伝える力が重要となってきます。これは、教員や指導者となったときにきっと生きてくる力でしょう。人と異なる意見、最初は個性的な考えでも構いません。コミュニケーションを通して自身の考え方をより一層高めていくことのできる指導者を、本学でぜひ目指してください。



09

Message

自分自身の体験や体感を
学びの中で
活かしてください

幼児教育

村石 理恵子 准教授

「領域『人間関係』」関連の授業では、子どもたちが周囲から愛情を受けて自立していく中で、人間関係を作っていくことを学びます。授業では、学生が幼少期に「どう感じていたか」や「どんなときに心が動くか」など自分の体験や体感したことを勉強に活かせるように心掛けています。実際に授業で「鬼ごっこ」を取りあげたときは、体育大なので楽しむ人が多いですが、子どもは「やりたくない」と感じる場合もあります。このときに、子どもが自分の体感とずれた思いをしていることに気づき、保育者としてどのように援助すると良いのかを考えることが大切です。学生には授業や実習を通して自分自身で課題を見つけ、それを解決しようと行動できる力を身に付けてほしいですね。



一人ひとりの夢を叶えるために、 それぞれに合った就職をサポート

東女体大で学んだ学生たちは専門性やコミュニケーション力が高く、就職先の学校や企業から非常に良い評価を得ています。そのため「今年もぜひ東女体大の学生に来てほしい」と求人情報が多く集まるほど。そのような高いスキルと人間性を身に付けた学生たちが自らの望むフィールドで生き生きと活躍できるよう、本学ではさまざまな職種や業界に合わせた講座や、個別のキャリア相談、豊富な就職情報の紹介など、手厚いサポート体制を整えています。



キャリア支援センター・教職センター

キャリア支援センター

一般企業・体育施設、公務員志望者を中心に支援します。



やりたいことは何か、どの時期に何をすればいいのか…就職活動は分からないことがたくさん。キャリア支援センターでは、学生の「なりたい姿」を実現させるために1年次から、将来について考える機会を設けています。「キャリアデザイン」の授業では、自分を深く理解する力を高め、「就職・試験対策講座」では多岐にわたる職種・業種の採用試験対策を行います。

サポート例

- **キャリアカウンセリング**
学生の考えをまとめる手助けをし、納得のいく進路選択に導きます。
- **就職・試験対策講座**
一般企業・体育施設、公務員の2コース別就職対策講座を用意しています。
- **応募書類の添削、面接指導**
エントリーシートや自己PRの書き方指導、面接のアドバイスなどを行います。
- **資格サポート**
「秘書技能検定」など就職に有利になる資格の対策講座を実施しています。



教職センター

教員志望者と保育士志望者を中心に支援します。



実践的な指導力をもった教員・保育士として現場で活躍できるよう、教員採用試験の対策講座はもちろん、多くの学生の就業を支援してきた職員が個別の相談に丁寧に応じるなど、サポート体制を整えています。また教職センターでは、「教職ラーニングステーション」を開設し、自由に閲覧・貸出できる採用試験関連の資料や、自主学習スペースなども完備しています。さらに、教職アドバイザーの先生が作成した採用試験問題を配布し、対策をすることで集中して採用試験に取り組むことができます。また、2018年度より上越教育大学との連携協定を結び、より実践的な学識を身に付けた教育者を育成することを目的とする教職大学院へと進学する道が開けました。多数の学生が進学しました。

サポート例

- **教育実習・介護等体験に関する指導**
具体的な実習準備の手順・提出物などの確認、実習・体験後の振り返りを実施します。
- **教養対策講座**
年間を通し、教員採用試験に対応できる各種講座を開講しています。
- **教員採用試験対策講座**
6月および2～3月に受験に必要な講座を集中的に開講し、重点事項の解説を行います。
- **保育実習の相談**
具体的な実習準備の手順・提出物などの確認、実習・体験後の振り返りを実施しています。

教職ラーニングステーション

教員採用試験の学習を中心に支援します。



2019年4月に、学生の教員採用試験等に向けた学習スペースとして「教職ラーニングステーション」が開設されました。「教師になりたい」という気持ちを持っていても、“どのように勉強したらいいのか分からない”という学生は多くいます。当施設は、そうした学生の相談や自学自習のサポート、必要な資料の提供を手厚く行っています。このスペースは、平日9時～20時まで利用可能。(※休業中は19時) また本学は毎年、教育やスポーツ分野の大学院に進学する学生もいます。2018年には上越教育大学との連携協定を締結したことで、学長の推薦による受験の道も開かれました。

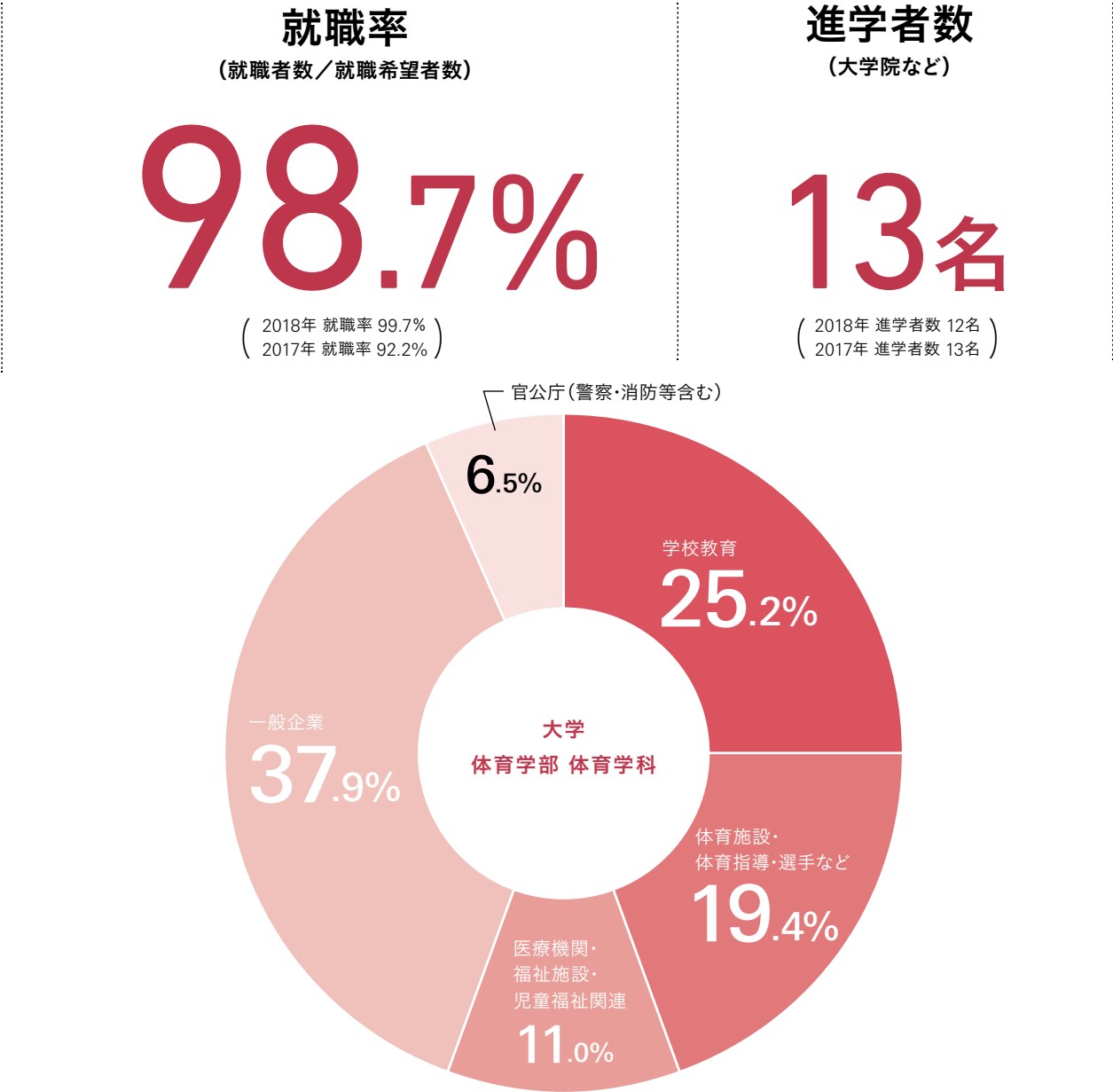
サポート例

- **能力に合わせた個別指導**
専任の教職アドバイザーと支援員が常駐し、学生の能力に合わせた個別指導や1限目前講座などニーズに応じた支援を実施。部活動などとの両立もサポートしています。
- **採用試験の練習問題を作成**
教職アドバイザーが作成した採用試験問題を使用することで、具体的に採用試験に取り組めます。ワークシートを作成し、忙しい間でも選択問題を練習できるようにするなどの工夫も凝らしています。



大学／体育学部 体育学科 （2019年3月卒業生）

全国に数多くの教員を輩出してきた伝統ある本学は、
教員を目指す学生が多く、さまざまな学校教育の現場に就職しています。
また、健康とスポーツに関わる仕事、専門的な機関でのスポーツ指導を志望する本学学生は、
取得したスポーツ指導者資格を活かし、スポーツ指導のプロフェッショナルとして各施設において活躍しています。
近年の大きな特色は、一般企業への就職が増加していることです。
明るく前向きな体育大学生の人柄や礼儀正しさ、コミュニケーション能力が買われ、
フットワーク・チームワーク・ネットワークが求められる一般企業で高い評価を得ています。



学校教育(公立・私立学校・幼稚園など)

【幼稚園】
(学)渋谷教育学園 渋谷幼稚園／東京都公認 坂の上幼稚園
(学)横溝学園 かみこ幼稚園／(学)柳父学園 ひかり幼稚園 他

【小学校】
立川市柏小学校／新宿区立落合第六小学校／吉川市中曽根小学校／習志野市立谷津小学校／福岡県福津市立福岡小学校 他

【中学校】
さいたま市立宮前中学校／かすみがうら市立千代田中学校／川口市立青木中学校／川越市立鯨井中学校／練馬区立大泉中学校／習志野市立第一中学校／川崎市立宮崎中学校／平塚市立中原中学校 他

【高等学校】
東京都立竹台高等学校／千葉県立佐原高等学校／埼玉県立所沢中央高等学校／松戸市立松戸高等学校／(学)星野学園 星野高等学校／(学)千葉経済学園／(学)藤嶺学園 鶴沼高等学校／(学)明徳学園京都成章高等学校 他

【中等教育学校】
(学)立命館 立命館慶祥中学校・高等学校／光塩女子学院中高等科

【特別支援学校】
愛媛県立みなら特別支援学校／大分県立中津支援学校 他

【大学・短期大学】
国立大学法人岩手大学／国立大学法人東京工業大学／(学)実践女子学園 実践女子大学／(学)藤村学園 東京女子体育大学

官公庁等

防衛省 陸上自衛隊／防衛省 海上幕僚監部／福島県教育庁／福井県教育委員会／久留米市役所
警視庁／岩手県警察本部／神奈川県警察／福井県警察本部／大和市消防本部／福島市消防本部 他

体育関連(選手等)

【ソフトボール】
花王コスメプロダクツ小田原(株)／ＹＫＫ(株)／医療法人社団東光会 戸田中央総合病院

【バレーボール】
トヨタ車体(株)／東京東信用金庫／(株)群馬銀行／医療法人社団天宣会

【ハンドボール】
(株)プレステージ・インターナショナル／(株)イズミ／飛騨農業共同組合 他

体育関連(施設・運動指導等)

【体育協会】
(公)東京都障害者スポーツ協会／特定非営利活動法人 羽村市体育協会／(公)新潟県スポーツ協会

【スポーツ用品関連(製造、販売)】
ヨネックス (株)／(株)ドームユナイテッド／(株)ゴルフ・ドウ／(株)ボルトン／(株)ヤング商事 他

【体育・スポーツ施設(運動指導)】
(株)東京ドームスポーツ／ RIZAP(株)／ RIZAPイノベーションズ(株)／(有)塚原体操センター／(株) LAVA International／(株) FEEL CONNECTION／(株)メディロム・ヒューマン・リソーセス／ＴＳＣホリスティック(株)／(株) LIFE CREATE／(株)カープスジャパン／ルビー新体操クラブ／東南スポーツ(株)／ NPO法人ヘルスプランニング／特定非営利活動法人ＹＴＫスポーツコミュニケーション／(株)ブルーアースジャパン／スポーツコミュニティ(株)／(株)ビーエスシー／ジールラックスイミングクラブ／(株)フージャースウェルネス＆スポーツ／シンコースポーツ(株)

保育・幼児体育・福祉・医療関連

(株)パディ企画研究所／(株)幼少児体育振興会／ラックススポーツクラブ／(株)キッズベースキャンプ／(株)ワイルドスポーツクラブ／(株)アデランテ／(株)パビエ／東邦ホールディングスグループ／日本調剤(株)／ Rhythmic Excellence Unity Academy／(株)日本保育サービス 他

一般企業・その他

【運輸・物流】
日本郵便(株)／ANAウィングフェローズ・ヴィ王子(株)／ ANA大阪空港(株)／(株)JALエービーシー／日本交通(株) 他

【建築・土木・不動産】
(株)NIPPO／(株)オンテックス／一建設(株)／(株)富士住建／(株)ミニミニ／大和リビングマネジメント(株)／(株)MDI／スターツファシリティーサービス(株) 他

【金融・保険・信販】
日本生命保険相互会社(法人職域業務部)／(株)大分銀行／長野信用金庫／(株)ジャックス 他

【自動車】
東京トヨタ自動車(株)／東京トヨペット(株)／トヨタカラー横浜(株)／愛知トヨタ自動車(株)／(株)トヨタエンタプライズ／埼玉トヨタ自動車(株)／ビッグモーターグループ／協和自動車(株) 他

【情報・通信・印刷】
(株)フジデン／ヴェルト(株)／ポート(株)／エクスコムグローバル(株)／(株)SOME／(株)オブティマイザー／(株)ドラゴンフライエンタテインメント／エルテック(株)／サンテレホン(株)

【流通・小売関連】
(株)ラコステジャパン／青山商事(株)／サミット(株)／(株)イズミ／生活協同組合コープみらい 他

【宿泊・飲食】
(株)東横イン／カトープレジャーグループ／(株)そら／(株)LEOC／ SFPホールディングス(株) 他

【化粧品・食品】
資生堂ジャパン(株)／(株)ディーエイチシー 他

【その他(サービス)】
富士ゼロックス東京(株)／ニチイ学館／(株)ティーケービー／(株)No.1／四季(株)／(株)インターネットインフィニティ／(株)ピーアップ／アイコミュニケーション(株)／(株)イマジナ／(株)DEXI 他

【ブライダル】
アイ・ケイ・ケイ(株)／(株)エスクリ／(株)マリアージュ／(株)クラウドディアコスチュームサービス／ワタベウェディング(株) 他

【警備保障】
(株)ジェイ・エス・エス／北関東総合警備保障(株)／東洋ワークセキュリティ(株)

【健康サービス】
(株)ファクトリージャパングループ／(株)村山健康やせ専門イヴ／(株)ボディセラピストエージェンシー

【人材サービス】
(株)ジョブス／(株)ジールホールディングス／(株)インター・ベル

【その他】
ホクレン農業協同組合連合会／長野商工会議所

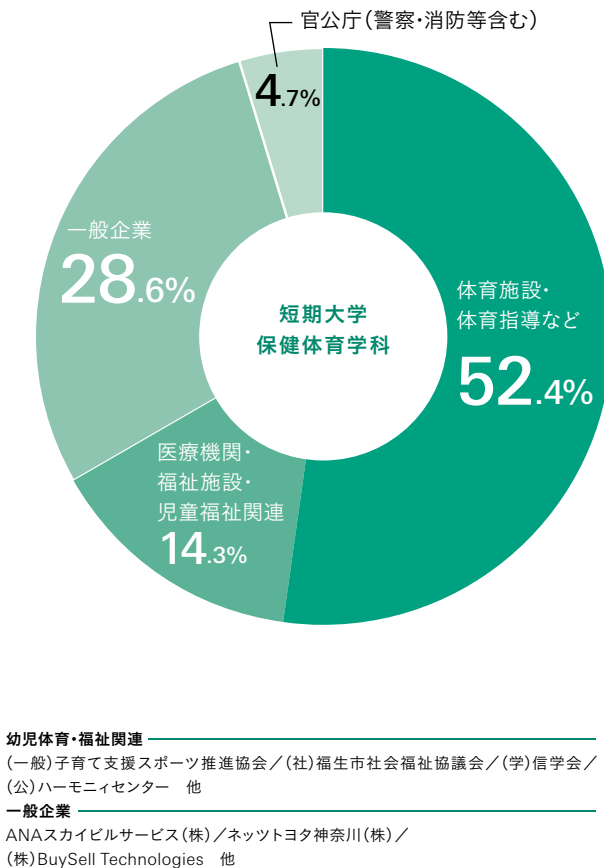
短期大学／保健体育学科

(2019年3月卒業生)

保健体育学科学生は、体育施設への就職が相変わらず好調です。民間のスポーツジムやフィットネスクラブでインストラクターとして活躍したり、公共の施設等で地域のスポーツ振興のために力を尽したり、さまざまな分野での活躍が目立ちます。また、フットワーク・チームワーク・ネットワークを大切にできる本学学生は企業にとっても魅力的な人材として、近年は一般企業への就職が大きな割合を占めています。そのほか、本学大学3年への編入の道も開かれており進学する人もいます。



官公庁等
東京消防庁
体育・スポーツ関連(運動指導・製造・販売)
(株)東京ドームスポーツ／TSCホリスティック(株)／(株)FEEL CONNECTION／
(株)ベンチャーバンク／(株)神奈中スポーツデザイン／(株)ピースフル／(株)グリップ
インターナショナル 他



短期大学／児童教育学科

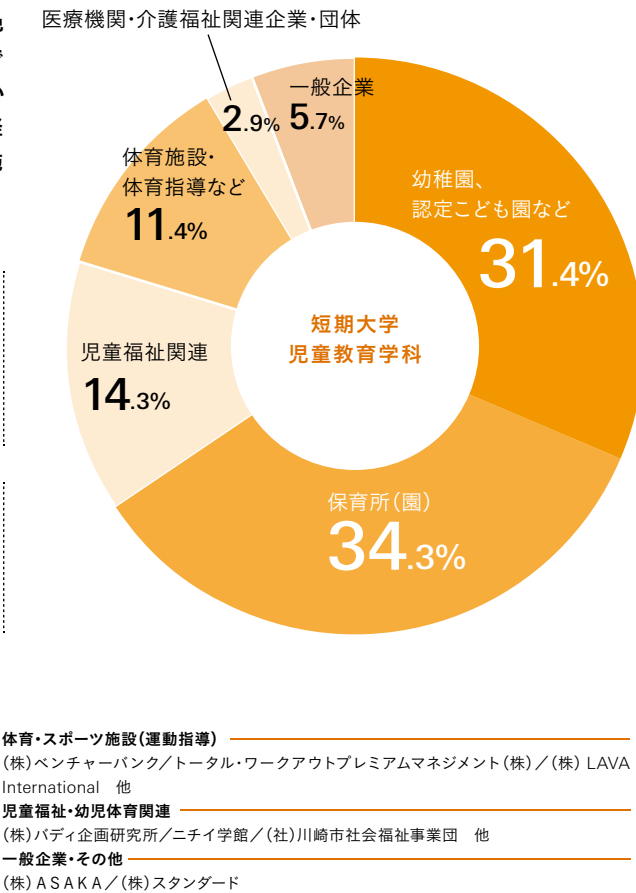
(2019年3月卒業生)

「運動遊び」など体育短期大学の児童教育学科学生としての特色を活かしたカリキュラムで身に付けた指導力が、幼稚園の現場で高く評価されており、幼稚園教諭への就職率は100%に達しています。また、保育者・教育者として就職する以外にもスポーツの経験をしてきた学生が多いため、魅力ある人材として福祉関連の施設からも注目されており、就職に繋がっています。



学校教育(幼稚園)
(学)願生学園川口アソカ幼稚園／(学)湘南やまゆり学園／(学)津久井浜学園津久井幼稚園／(学)光時学園ひばりが丘幼稚園／平尾わかば幼稚園／(学)藤井学園あづま幼稚園／
(学)南武学園朝霞幼稚園／(学)進藤学園きよし幼稚園／(学)野村学園パール幼稚園／
(学)観音寺学園たから幼稚園／(学)義澄学園認定こども園相模野幼稚園 他

保育所(園)
(社)むぎの穂福祉社会むぎの子共同保育園／(社)稲田会かざぐるま保育園／ライクアカデミー(株)／(株)こどもの森／(株)WITH／(株)ポピンズ 他



取得できる免許・資格

- …定められた科目を履修し、卒業することによって取得できる資格
- ◎…指定科目を履修することにより、在学中に受験することができる資格
- ▲…併設の短期大学で開講される教育職員免許法等で定められた科目を履修し、必要な単位を修得し、卒業することによって取得が可能(履修条件あり)

教員免許状・保育士資格が
取りやすい環境です。

定められた授業科目を履修することにより、卒業と同時に教員免許状を取得できます。
教員免許状を取得する学生は多く、学部学科によっては複数の教員免許状の取得も可能です。
短期大学児童教育学科幼保コースでは、定められた授業科目を履修することにより、保育士資格を取得できます。

教員免許状・保育士資格

免 許	大学 体育学部 体育学科	短期大学 保健体育学科	短期大学／児童教育学科	
			幼保コース	幼小コース
中学校教諭 一種免許状(保健体育)	●			
高等学校教諭 一種免許状(保健体育)	●			
中学校教諭 二種免許状(保健体育)		●		
小学校教諭 二種免許状	▲			●
幼稚園教諭 二種免許状	▲		●	●
保育士資格			●	

スポーツ関係の資格

資 格		大学／ 体育学部 体育学科	短期大学／ 保健体育学科	短期大学／児童教育学科	
				幼保コース	幼小コース
スポーツ指導基礎資格 (スポーツリーダー)	日本スポーツ協会公認 スポーツ指導の基礎を学ぶ資格です。地域におけるスポーツグループやサークルなどでスポーツ指導にあたりようと考えている方におすすめの資格です。	●	●	◎	◎
フィットネス資格 (スポーツプログラマー)	日本スポーツ協会公認 地域スポーツクラブや地域の公共施設、商業スポーツ施設等で、健康・体力づくりの実技指導や活動プログラムの提供などにあたりようと考えている方におすすめの資格です。	◎	◎		
フィットネス資格 (ジュニアスポーツ指導員)		◎	◎	◎	◎
健康運動実践指導者	健康・体力づくり事業財団公認 健康づくりのための運動指導者に与えられる資格の一つで、健康づくりのための運動指導の知識・技術等を持ち、健康づくりを目的として作成された運動プログラムに基づき、ジョギング・ウォーキング、エアロビック・ダンス、水泳および水中運動等のエアロビック・エクササイズ、ストレッチ、筋力・持久カトレニング等の補強運動の実践指導を行うことができると認められた者に与えられます。	◎	◎		
健康運動指導士	健康・体力づくり事業財団公認 医学的基礎知識、運動生理学の知識を持ち、生活習慣病予防や健康水準を保持・増進することを目的として、個々人の心身の状態に応じた健康プログラムの作成および指導を行う者をいいます。	◎			
障がい者 スポーツ指導員(初級)	日本障がい者スポーツ協会公認 障がい者スポーツの振興と競技力向上にあたる指導者の資格と指導力の向上を図り、指導活動の促進と指導体制を確立するために設けられた指導者制度で、本学では障がい者スポーツ指導員(初級)の資格を取得することができます。身近な障がい者に対して高度な障がい者スポーツの技術を指導することはもとより、障がいの内容に基づいた活動上の健康や安全管理を重視し、スポーツの喜びや楽しさを理解できるように指導することを目的としています。	●	●	●	●

Message
内定者メッセージ

東女体大での学びをもとに、
採用試験に現役で合格した先輩たちに話を聞きました。



INTERVIEW 1

教員

【内定先】
東京都(小学校)

子どもに寄り添える
先生を目指してレベルアップ。

高校生のときから教師を目指して、東女体大に入学しました。私は
集団の前で話す緊張して、一人ひとりの顔を見ずに発表すること
が多かったです。しかし、授業の中で先生役としてみんなの前で
模擬授業を繰り返すうちに、今では前に立っても顔を見ながら話
せるようになりました。また、授業を行うための指導案を考える際、
「もっとこうした方が生徒は楽しいかもしれない」と考えられるよう
になったことも、授業を通して実感できた自分の成長です。将来は
ここで学んだことを活かして、子どもに寄り添える先生になりたい
です。

鈴木 茜さん

大学／体育学部 体育学科4年
群馬県 高崎健康福祉大学高崎高等学校出身



INTERVIEW 2

アスリート

【内定先】
ビックカメラ高崎

レベルの高い環境だから、
目指す先も大きくなります。

幼稚園の先生になるため短大に入学しましたが、部活のソフトボールを
続けたかったので、大学へ編入しました。部活では、礼儀を1年目から
しっかり教わることができるので、就職活動でとても役立ちました。東
女体大にはオリンピック出場の経験があるなど、レベルの高い先生か
ら上を目指すためのアドバイスをいろいろ聞くことができるので、自分
自身の目標を高く設定できることが魅力。内定をいただいた実業団で
は、ソフトボールがオリンピック競技として復活したときに活躍でき
よう、まずはチームで頑張りたいと思います。また、大学では中学と高
校の教員免許を取ったので、実業団の選手活動が終わった後は指導者
になるのもいいかなと考えています。いつかは教員にもなりたいし、幼
稚園の先生にもなりたい。東女体大はやりたいことがたくさん見つけれ
る場所です。

古谷 祐花さん

大学／体育学部 体育学科4年
山口県 高川学園高等学校出身



INTERVIEW 3

公務員

【内定先】
埼玉県(市役所)

たくさんのサポートがあるから、
進路が変わっても安心。

もともと体育の先生を目指して東女体大に入学しましたが、3年生のと
きに公務員になることを決意。就職活動は、所属していたストリートダ
ンス部との両立が大変でしたが、キャリア支援センターが行っている
公務員を目指す人に向けた講座に参加したり、キャリアカウンセラーの
方に文章のアドバイスをもらうなど、たくさんサポートしていただきまし
た。就職先の方には、東女体大はハキハキした学生が多いからか、体
育大学ということを知ってもらいやすかったですね。将来は、東女体大
での経験を活かして、地域で行うスポーツイベントを考えていきたいと
思っています。東女体大はいろいろな競技を専門とする学生が多く、
考え方や個性もバラバラ。その中で、体を動かすことが好きな人は、得
意・不得意をお互いに支え合いながら成長していけるので、より楽しい
大学生活になると思います。

仲村 悠里さん

大学／体育学部 体育学科4年
埼玉県 埼玉平成高等学校出身



INTERVIEW 4

保育士

【内定先】
八王子みなみ野雲母保育園

実践的な授業の中で学び、
成長できる場所。

中学生の頃から保育園の先生を目指して東女体大に入学。初めは、子
どもと音楽に合わせて体を動かすことに対して、少し“恥ずかしい”とい
う気持ちがありました。しかし、「先生が楽しそうだと子どもたちも真似
をして楽しそうにする」という教えを授業の中で学んでからは、何度も
経験を重ねていくうちに楽しいと思うようになりました。実際に、実習
先では子どもたちも楽しそうに踊ってくれたので、保育者として自分自
身の成長を感じることができました。ほかに、子どもが熱を出したと
きの対処法などを学ぶ「子どもの保健」のように、就職後に役立つこと
を授業の中で実践的に学べるのがとても嬉しいですね。また、「幼児
体育」の授業のように体育を通して児童教育を学べることも東女体大
の魅力の一つだと思います。

溝呂木 紗奈さん

短期大学／児童教育学科2年
東京都立片倉高等学校出身

ハンド ボール部

ハンドボール部は、昭和36年に創部されました。部員は「ひとりみんなのために、みんなはひとりのために」という言葉を大切にしながら、お互いに高め合っています。ハンドボールの魅力は「走る・跳ぶ・投げる」といった、動作のダイナミックさ。スピーディかつ迫力満点なこのスポーツと一緒に楽しみ、勝利を勝ち取りましょう。



ダンス部

ダンス部は昭和26(1951)年創部の歴史と伝統のあるクラブです。日々の練習は、本学に伝わる基本運動やダンス作品(伊澤エイ作品)、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなどのさまざまなジャンルの動きを取り入れ、創作活動を行っています。また「ダンス研究発表会」などの定期公演や各種コンクールで成果が出せるよう練習しています。



競技 スキー部

昭和41年の創部以来、明るく元気に活動中です。競技はアルペンとランナーの2種類に分かれており、みんな夏のトレーニングで持久力をつけ、秋から冬の大会に備えます。サポートしてくださる周りの方々への感謝を忘れず、雪上で納得のいく滑りをすることが目標です。



カヌー部

1964年の東京オリンピックカヌー競技に出場した岡本敬子さんの本学入学をきっかけに、カヌー部が設けられました。私たちの行っているカヌースプリントは、艇に乗りパドル1本で、流れのない静水をいかに速く漕ぐかを競います。努力の跡がタイムという数字に表れる、シンプルで奥深い競技です。



ソフト テニス部

昭和37年に創部し、全日本学生対抗戦で7連覇を果たすなど、歴史と伝統のある部です。平成29年から、再び全日本学生対抗戦で3連覇を成し遂げるとともに、部員の中には、日本代表選手も所属しています。日々の練習では武田博子監督の指導の下、部員は常に挑戦者の気持ちを忘れず、自分の目標と闘いながら、日本を目指し、明るく元気に活動しています。



水球部

水球は、水深約2mのプールで立ち泳ぎをしながら巧みな攻撃とディフェンスで相手を圧倒し、シュートを決める競技です。厳しい環境の中で精神力と肉体が鍛えられ、家族より強い絆も仲間との間に生まれます。目標は、全ての試合で全力を出し勝利を目指すこと。長期的にはひとりでも多くの日本代表を輩出し、世界で活躍することです。2020年そして、それ以降の大会に向け、がんばります。



東女体大に入学したら、私たちの部室へおいでよ。

Welcome to our Club!

競技スポーツ系から文化系まで盛んなクラブ活動は、東京女子体育大学・東京女子体育短期大学の魅力の一つ。体育大学ならではの充実したスポーツ施設や設備、さらに他大学や卒業生との密な交流が活動を活発にさせています。運動スキルを磨くだけでなく、クラブ活動を通して一生ものの仲間と出会い、キャンパスライフを楽しんでいる学生がたくさんいます！

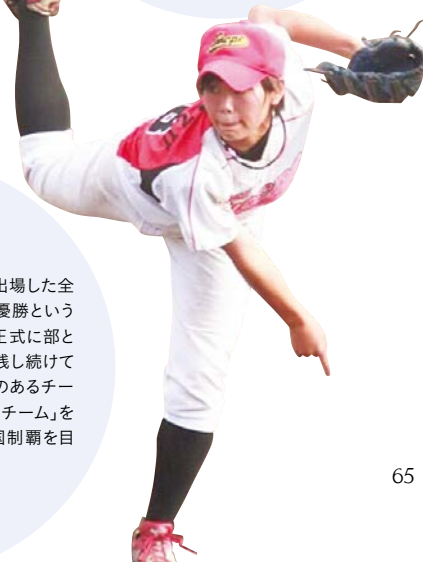


各クラブの詳細情報は
Webで閲覧できます！



サッカー部

サッカー部は1987年に創部し、関東大学女子サッカーリーグ戦に第1回から参加しています。サッカーはチームスポーツであるため、部員同士の協力が不可欠。部の団結力は年々増しており、初心者も練習を重ねながら日々成長中です。常にチャレンジャーの気持ちを忘れず、これからの切磋琢磨しながら練習に励みます。



野球部

平成5年、有志でチームを結成して出場した全日本大学選手権にて、初出場で初優勝という成績を収めたのが野球部の前身。正式に部として活動を始めてからも、好成績を残し続けてきました。日々の練習では「メリハリのあるチーム」、技術面で「相手から嫌がられるチーム」を目標に、野球が大好きな仲間と全国制覇を目指します。

ラクロス部

日本で最初に女子ラクロスを始めたのが、本学ラクロス部。大学から始める人がほとんどですが、練習をすればすぐに上手になります。ボールのスピードが速く、観ているだけでも迫力があり、とてもおもしろいです。一緒にプレーしましょう。



硬式 庭球部

昭和48年に創部された硬式庭球部は、先輩が作ってきた伝統や部則を今も大切にしながら活動しています。社会性・協調性を身に付けることができ、人としてのあり方や上下関係、礼儀やマナーも学べる環境です。個人戦ではひとりでも多くの部員が関東代表になれるように、団体戦では全員で戦い昇格できるように練習しています。



合気道部

合気道部は、昭和57年に創部しました。卒業時に短大生は初段、学部生は2段取得という達成感を持って社会に巣立っていきます。合気道に勝敗はなく、勝利のためにがんばるというよりは、続けることで強い精神力を身に付けられる武道です。初心者歓迎。新しいことをやってみたい方は、ぜひ私たちと一緒に稽古に励みましょう。



柔道部

平成25年に創部された部です。2019年度全日本学生柔道優勝大会で準優勝を果たしました。一人ひとりがさらに強くなるため日々の稽古に励んでいます。挑戦する気持ちを大切に、部員全員でこれからの歴史を少しずつ築いていきます。



スピード スケート部

スピードスケート部は、スピードスケートのショートトラック部門でインカレ総合優勝20回という、最多優勝回数を誇る部です。この競技の魅力は、車でも曲がり切れない急カーブを絶妙なバランスとスピードで滑る爽快感。私たちの人生にとってスケートは、なくてはならない存在です。これからも努力を惜みず、部を盛り上げていきます。



フィギュア スケート部

シングルではインカレ入賞、シンクロナイズドスケATINGでは全日本選手権出場を目指して活動しています。シンクロナイズドスケATINGは、日本で本学が初めて挑戦したフィギュアスケートの団体競技で、16人の選手が一体となり、さまざまなフォーメーションを作って滑走します。発足の翌々年には国際スケATING競技大会に出場し、特別賞を受賞しました。



体操競技部

体操競技部は、本学の中で最も古くから存在する部です。全日本インカレ選手も初心者も、上級生も下級生も一緒になって同じ時間に練習をし、全員で技術を高め合っています。無理だと諦めかけた技でも「できない原因」を研究し、不可能を可能にしてきました。多くの人の力を借りて限界を超えたとき、初めてその楽しさに巡り合える競技です。



スノーボードサークル

平成7年に同好会として設立して以来、大会出場の実績などを積み重ね、平成13年にサークルへと昇格しました。部員同士、学年の壁を越えて「うれしい」「悔しい」といった感情を、お互いに高め合いながら個々の技術を向上させています。卒業後も趣味として続けられるこの楽しいスポーツを、一緒に始めてみませんか？



陸上競技部

昭和37年の創部以来、オリンピック出場などの輝かしい経歴を持つ卒業生を多数輩出してきました。現在も、多くの部員が大会で優秀な成績を収めています。練習は短距離、中・長距離、跳躍、投擲の4つに分かれて行います。一人ひとりが強い意志を持ち、目標達成のために努力を惜しみません。



昭和41年に創立された、伝統のあるクラブです。一橋大学、津田塾大学、本学の3大学で成り立っています。男女が組んで踊るという特殊なスタイルで、明確に勝敗が想定できるわけではないため、勝つために必要なことを考えさせられる競技です。心からの笑顔と姿勢と表現方法で、観客の皆さんに感動していただくために日々研究しています。

舞踏競技クラブ

アイスホッケー部

平成13年に創部して以来、日本の大学女子のアイスホッケーをリードしてきたわが部。他学を寄せ付けない戦績を重ね続け、平成25年には記念すべき第1回日本学生女子アイスホッケー大会で優勝を勝ち取りました。試合前には円陣を組み、チームに受け継がれる「自分を信じて、みんなを信じて」から始まる合言葉で心をつづけています。



バドミントン部

ソフトボール部

昭和41年に同好会として立ち上げて以来、受け継がれてきた伝統の部です。その間、全日本インカレ優勝・準優勝を何度も経験し、常に上位に君臨してきました。大所帯ではありますが、限られた場所と時間の中で技術の向上に尽力するだけでなく、精神面を強化し、人間性も高める努力をしながら練習に取り組んでいます。



創部は昭和38年。「みんなで強くなる」をスローガンに、部員一人ひとりが意識を高く持ち、活発に練習を行っています。バドミントンは、工夫と努力を重ねれば必ず結果がついてくるスポーツです。部員は自主練習にも積極的に取り組み、成果を挙げています。チーム一丸となって、関東学生1部リーグに昇格することが今の目標です。



剣道部

創部は昭和49年。何事にも正しい心を持って取り組む「正心」をスローガンに、全日本優勝を目指して活動中です。良き仲間や指導者と出会えるだけでなく、個性を伸ばしながらのびのびと剣道に打ち込める環境が整っています。技術の向上とともに礼節を重んじ、相手を尊ぶ気持ちを養うことで、人間的にも成長できる部です。



ライフセービング部

ライフセービングは、主に水辺の事故防止や人命救助に関わるボランティア活動。夏が始まると、一人ひとりが選んだ浜に分かれて監視活動を行います。水辺の事故を未然に防ぐ「バトロール力」や、何かあったときの迅速かつ冷静な「救助力」、ライフセーバー同士の「団結力」など、今年は「輪」をキーワードに努力していきます。



空手クラブ

空手クラブは、平成13年に創立された新しいクラブ。週に3日行われる夕稽古の中で、組手や形の練習をしています。明るく厳しく、そのほかは楽しく。オフの時間とのメリハリが、はっきりついているのが特徴です。今後も空手の本質を究めるために、一人ひとりが自らの個性や持ち味を活かし、心・技・体を向上させるべく努力し続けます。



新体操競技部

新体操競技部の歴史は長く、多くのオリンピック代表をはじめ日本代表選手を輩出してきました。現在もインカレ優勝や発表会に向けて、日々練習に励んでいます。演技作りや発表会開催のための準備も全て学生主体。さらに審判員、コーチとして活躍するための学びの機会も設けています。先輩方が作り上げてきた伝統を、私たちと一緒に守っていきましょう。



トライアスロン部

トライアスロン部は平成5年に同好会として発足し、平成15年に部へ昇格しました。トライアスロンとは、泳ぐ、自転車こぐ、走る、の3種目を連続して行う競技。トライアスロンを通して苦手なことに取り組み「努力すれば達成できる」ことを肌で実感できるのが魅力です。今までのスポーツ経験も、十分に活かしてほしいと思います。



チアリーディング部

1989年に同好会として設立され、翌年全国大会優勝。以後チアリーディングチームとして、より高いレベルを目指し活動してきました。2018年にソングリーディングチームを創設し、2チーム体制となり、それぞれの競技大会で質の高いパフォーマンスを追求するとともに、地域イベントなどでも演技披露をしています。あふれる笑顔・パワフルな動きを軽快なリズムに乗せて、みなさまにお届けします。



卓球部

卓球部は昭和28年に創部された伝統のある部で、300人を超える卒業生がいます。かつては関東学生卓球リーグ1部で活躍し、世界選手権に出場した先輩方もいました。賑やかで活気ある雰囲気の中、一人ひとりがレベルアップできる環境作りを行い、現在も関東学生卓球リーグ1部昇格を目指して練習に取り組んでいます。



初等教育 研究会

有志が集まって勉強会を開いていたのがきっかけで、平成23年に活動承認クラブに認められました。部員全員で、教員採用試験や小学校教員資格認定試験への合格を目標に、過去問題を解いたり教職教養についての勉強を行ったりしています。「全員で合格」という目標のもと、同じ志を持った仲間と互いに高め合い、夢を叶えましょう。



中等体育 授業研究会

中学校・高等学校の体育教師になるために必要な知識や技能を修得します。実際にさまざまな学校の先生と一緒に体育の授業を作ったり、全国各地のスポーツイベントに参加して知見を深めるなど、大学を飛び出した実践的な活動をしています。

演劇クラブ



平成20年に学生の手で発足し、その2年後より演劇クラブ「劇団START◎」として活動を始めました。「体育指導者を志す者の演劇集団」として、東女体大生ならではの身体表現や発想を活かし、エネルギーな演劇を目指しています。今後は部員を増やし、学園祭・卒業公演を中心にさまざまな場面で活動をしていきたいです。

基礎 スキー部

基礎スキーとは、ゲレンデの状況を的確に判断し、安全に楽しくスキーの実践を心掛ける競技です。オフシーズンには筋力・体カトレーニングを行っています。質を極め美しい滑りをするための「エレガント」をスローガンに掲げ、初心者も上級者も楽しく活動中です。教員となつてのスキー教室の引率にも役立ちます。



写真部

先生の指導のもと、実践の中から撮影技術を身に付ける部です。「きれいな風景を見つけたら、逃さず撮る」など、毎年テーマを掲げて活動しています。スローガンは「好奇心」。部員たちはとにかく「良い」と思ったらシャッターを切り、技術を自分のものになっています。学園祭展示に向け、魅力ある写真を撮るのが目標です。



ボランティア クラブ



数年前から、学内で集めたペットボトルキャップをワクチンに換え、発展途上国へ送る活動をしています。それ以外にもフリーマーケットやペットボトル集めなどを通じて、地域の人々と繋がりが持てることも魅力です。私たちの活動はとても小さなものですが、積み重ねることで人々の笑顔を少しでも増やせたらと思っています。

水泳部



水泳部の歴史は古く、今までに数々の卒業生が活躍しています。現在も、多くの選手がインカレ出場や1部昇格を目指し、それぞれが自己ベストを出すべく練習に励んでいます。スローガンの「進取」は前進を続ける先には必ず得るものがあるという意味。目標に向かって果敢に挑戦し、部員全員で闘います。



バレー ボール部

バレーボール部は昭和27年に創部しました。部員数が多いため6人制と9人制に分かれて練習し、互いに切磋琢磨して大学日本一を目指しています。また技術の向上や勝ち負けだけでなく、部活動を通じての人的成長を目的とすることも重要視しています。将来、指導者を志す部員も多く、高い意識で日々の生活に臨んでいます。

ワンダー フォーゲル部

「ワンダーフォーゲル」とは、ドイツ語で「渡り鳥」という意味。渡り鳥のように、壮大な自然の中で自由に活動する部です。春や夏に長い旅に出るために、月に1度の学外活動(登山など)や、学内でのトレーニングを行っています。自然の中でさまざまな体験をしながら、自分の可能性を広げてみませんか。



音楽クラブ

自主的・積極的に活動したい人に最適なクラブです。部員それぞれが興味のある楽器を練習し、さまざまなジャンルの音楽に日々挑戦しています。学園祭で練習の成果を発表しています。とにかく、音楽好きな人たちが集まっているところが何よりの魅力。先輩と後輩の仲も良く、自由な雰囲気好きな音楽に触れているので、ぜひ一度見に来てください。

美術部

昭和53年に創部された美術部には、スポーツ・体育が好きで、もの作りも好きという学生が集っています。合宿などを通じて交流を深めながら、学園祭や展覧会に向けて活発に活動中です。アートとは、自分と、自分の作品をプロデュースすること。「マイペース」をスローガンに、部員たちは日々自由に表現しています。



創部以来、安全第一をモットーに、無事故を実現してきました。ダイビングは常に危険と隣り合わせですが、安全に潜れば海の魅力を体全体で味わえるスポーツです。私たちの部は学年に関係なく部員同士の仲が良く、学年ごとにカラーがあり個性豊かなところも特徴。素敵な仲間と一緒に、自然の偉大さを実感してみませんか？

2002年に結成されて以来、明るく前向きに手話を勉強しています。積極的に手話を覚えようとしているメンバーで構成されており、とても良い雰囲気です。手話は、耳の聴こえない人と聴こえる人を繋ぐ一つの言語。手話を身に付けば、誰とも会話できるようになります。私たちと一緒に、楽しみながら手話を覚えましょう。



手話 サークル



トラン ポリン部

シドニーオリンピック以降、正式種目になったトランポリン。大学から始める人が多く、初心者でも入賞を狙える魅力的なスポーツです。下級生は上級生の演技を模範とし、お互いがライバル意識を持ちながら短時間に集中して練習しています。部活動を通してさまざまな経験をしながら、技術だけでなく人間性も高めていきましょう。

ストリート ダンス部



ストリートダンス部は、HIP-HOPをはじめ、JAZZ(バレエの要素を取り入れた踊り)、GIRLSやR&Bなど、さまざまなジャンルに挑戦しています。経験者も初心者も、仲間と踊る楽しさを感じながら、観てくださる方に感動をお届けできるよう「心からのダンス」を大切にしていきます。

駆け引きとスピード感が魅力のフェンシングには「フルーレ」「エペ」「サーブル」の3種目が存在します。それぞれの個人戦と団体戦でインカレ優勝を達成すべく、練習に打ち込む日々です。卒業生の中には世界で活躍中の選手も多く、私たちが負けてはもらえません。部員同士がアドバイスし合いながら、お互いに高め合っています。

フェンシング部



アクア ダイビング部





Campus Life!

東女体大のキャンパスライフが楽しくないわけがない!

重なり合って聞こえてくる、かけ声。
 体育館に響くボールの音。キャンパスを包み込む笑い声。
 東女体大には、あらゆる場所に活気があふれています。
 自分のやりたいことに一生懸命な仲間が集まっているから、
 あなたもきっと真剣になれる。
 感動のある毎日を、このキャンパスで。



A Yearly Schedule

4	APR.	5	MAY.	6	JUN.	7	JUL.	8	AUG.	9	SEP.	10	OCT.	11	NOV.	12	DEC.	1	JAN.	2	FEB.	3	MAR.
入学式 入寮式 フレッシュウィーク 前期授業開始 授業ガイダンス(前期) 体力テスト		創立記念日(5月10日) 教育実習ガイダンス 教育実習(小・中・高) オープンキャンパス		教育実習(小・中・高) 教育実習(幼稚園)Ⅳ 介護等体験ガイダンス オープンキャンパス		夏季休業開始 海浜実習 水泳(含海浜実習) 前期補講期間 介護等体験ガイダンス オープンキャンパス		キャンプ 野外活動演習 社会体育・健康産業等施設実習 インターンシップ		夏季休業終了 保育実習Ⅱ・Ⅲ 教育実習(幼稚園)Ⅲ 健康運動実践指導者対策講座開講 各課オリエンテーション 前期定期試験 オープンキャンパス		授業ガイダンス 後期授業開始		藤園祭 ゼミ所属、専攻コース オリエンテーション 介護等体験ガイダンス オープンキャンパス		卒業研究発表会 教育実習ガイダンス 介護等体験ガイダンス 冬季休業開始		冬季休業終了 後期補講期間 後期定期試験 介護等体験(大)説明会 教育実習ガイダンス		創作オペレッタ発表会 スノーボード実習 スキー実習 海外英語・文化講座 教育実習ガイダンス 保育実習Ⅰ		春季休業開始 保育実習Ⅰ 卒業生ガイダンス 卒業式 オープンキャンパス	

とことん
打ち込める環境がある！

東女体大施設Check!

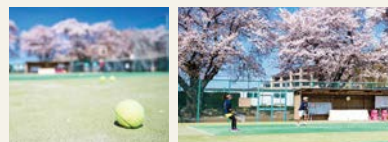
スポーツに本気で取り組みたい学生のため、東女体大では本格的な運動施設を用意し、常に良い状態で使えるように徹底した管理を行っています。この最高の環境であなたもベストなパフォーマンスを発揮してください。

Check Point

01

2019年3月、新設。 汗と桜が舞うコートの上で エースをねえ！

コートの良し悪しは練習の質を左右する重要なポイント。軟式・硬式どちらにも対応する本学の4面のテニスコートは、高グレードな砂入り人工芝を使用。高い耐久性で安定したプレーを支えます。さらに、雨が降った後も使えるオールウェザーコートでいつでも練習に集中することができます。



春には桜を見ながらプレーできるのも人気の理由の一つ。休憩のひと時にもちょっとしたお花見気分を味わえます。



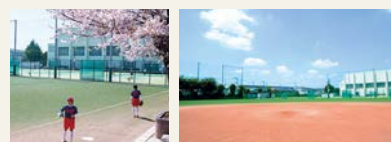
テニスコート

Check Point

02

ナイターOK！ 雨天OK！ 日本代表選手も使用するグラウンド

東京2020オリンピックで3大会ぶりに公式種目に返り咲き、盛り上がりを見せるソフトボール。日本代表選手も練習場として活用するほど本格的な本学のソフトボール専用グラウンドで練習し、将来の活躍を目指しませんか。ナイター練習も可能で、思い切り練習に打ち込めます。



外野は人工芝なので土ぼこりがたたず、雨が降っても水たまりがないため、いつでも快適に練習できます。



ソフトボール場

Check Point

03

東日本で唯一！ ハンドボールに特化した 運動施設を完備

東京女子体育大学・東京女子体育短期大学には6つの体育館があり、第7体育館には公式試合にも使用できるハンドボールコートを設置。オリンピックなどのコートにも用いられている床材「タラフレックス」を使用しています。特に衝撃吸収性とグリップ力が優れており、足元の動きをしっかりと支えることで安定したプレーをすることができます。ぜひ自分の身体で確かめてください。



国際大会でも対応できる規格です。

体づくり運動の授業でも使用しています。

Check Point

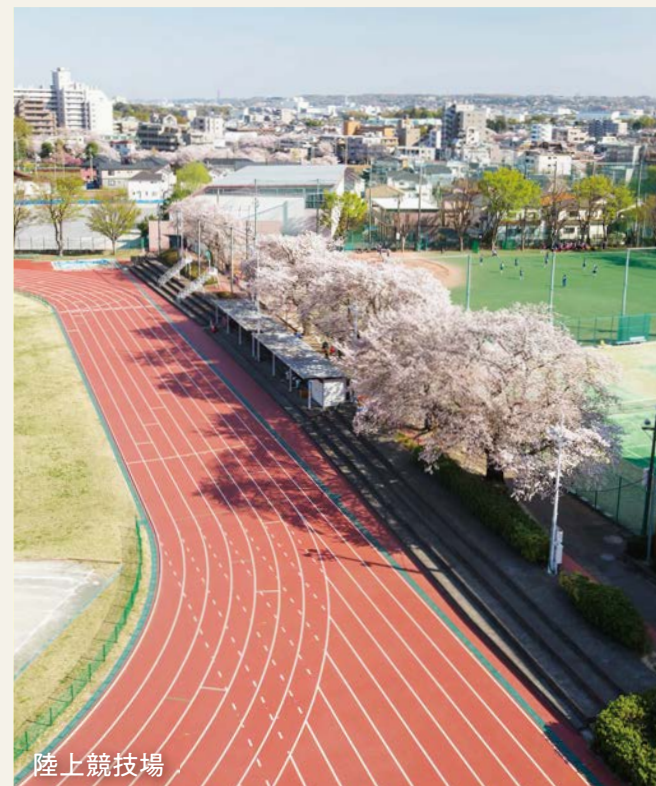
04

走って、跳んで、投げて。 体育大の充実の競技場で ベストパフォーマンスを目指す

日本陸上競技連盟に第4種公認競技場として認定されている競技場です。9レーンのトラックを備えた、本格的な環境は体育大学ならではの。跳躍競技や投擲(とうてき)競技の設備を整えたインフィールドを含め、オールウェザー仕様です。常に最適な環境を保つため、徹底した管理を行っています。



シーズン中は公式競技会が開催されています。



陸上競技場



11号館 第7体育館

Campus Map



G 5号館



第1体育館
バスケットボールコート2面、バレーボールコート3面が取れる球技専用の第1体育館です。

H 4号館



研究室・教室・健康管理センター・キャリアセンター・教職センター・武道場・ATM
免震構造でソーラーパネルも設置。

I 6号館



学生食堂・合宿所・保育実習室・スポーツ用品店・コンビニエンスストア
1階、2階には、合わせて570席を設けた学生食堂と、スポーツ用品店、コンビニエンスストアがあります。

J 8号館



シャワー室・合宿所
40人が宿泊できる合宿所。シャワー室も完備されています。

K 7号館



第2体育館・第3体育館
体操競技専用の第2体育館と、新体操競技、バドミントンなどで使用する第3体育館を備えています。

L 10号館



図書館・第6体育館・トレーニング室
図書館、運動生理学実験室、トレーニング室、ランニングコースがある第6体育館を併設しています。

M 9号館



第5体育館・1階室内プール
25m×8コースの温水プール、ダンス専用の第5体育館、ピアノ練習室（個室）が25部屋あります。

N 2号館



研究室・教室・女子体育研究所
教職ラーニングステーション
創立80周年を記念して建てられました。

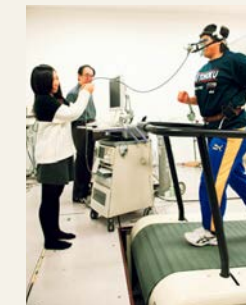
O 3号館



藤村総合教育センター・地域交流センター
藤村総合教育センター。文化・スポーツ活動に適した機能を備えた多目的ホールです。地域交流センター、藤村学園資料室も設置。固定・可動合わせて1,020席を設けており、多彩な活動が行われています。

人の身体と機能について 理解する最先端の教育設備も！

身体・運動能力を測定する機器や、リハビリ・コンディショニングを行う機器など、スポーツ科学を学ぶことができる最先端設備を用意しています。
これらの機器を使い解析することで、身体の仕組みやスポーツ動作について理論的に理解します。自分がスポーツをするときはもちろん、アスリートを指導する際にも活用できます。



運動生理学機器・
バイオメカニクス関係機器



リハビリ機器

図書館をCLOSE UP

スポーツ・教育関係の資料が充実！



地下1階、地上3階建ての広々とした図書館は、図書資料約18万冊、雑誌約730種、映像資料約2,500点を所蔵。体育・スポーツ、女性、教育関係の資料が半数以上を占め、専門分野においても、より深い学びを支援します。また、児童教育コーナーや視聴覚利用コーナー、研修室も完備。個人でもグループでも利用しやすい施設となっています。



オリンピックの資料から 各競技の専門誌まで スポーツ関連資料を多数所蔵

歴代のオリンピック競技大会報告書などスポーツにまつわる貴重な文献も充実。また、各競技の専門誌のラインアップも豊富です。



紙芝居だけでも640種類、 絵本は3,500冊以上！ 充実の児童教育コーナー

大型の紙芝居や仕掛け絵本など、さまざまな種類の児童書を所蔵しています。藤園祭（学園祭）では、読み聞かせや紙芝居を通して、学生と地域の子どもたちが交流する場にもなっています。



パソコンスペースや 自習スペースも完備

自由に使えるパソコンスペースでインターネットを活用して調べ物をしたり、静かな自習スペースでテスト勉強をしたり、学びに集中できます。



快適で充実したキャンパスライフを送るための学生寮。

〔ふじ寮〕

本学から徒歩約10分のところに位置するふじ寮は、252の個室、開放感のある談話室、自由に利用できるトレーニングルームなどを備えた学生寮です。そのルーツは実質的な創設者である藤村トヨ先生の時代にさかのぼります。建学の精神「心身ともに健全で、質素で誠実、礼儀正しい女子体育指導者の育成」を学生寮においても実践してきた歴史があり、いまでも良き生活習慣を確立できる環境作りに力を入れています。寮生活を送る中で自立心を育成することを大切に、卒業生が寮生指導員として共に生活して学生たちをサポートしています。クラスやクラブ以外の友達がたくさんできるのも寮ならではの魅力です。

〔施設内容〕

建物 鉄筋コンクリート造り 6階建て
居室 252室(9.4㎡ 全室個室) ベッド、机、椅子、小型冷蔵庫、クローゼット、エアコン、無線LAN
食堂 1階 124席(朝・夕食)
浴室 120㎡
その他 談話室、エレベーター、トレーニングルーム、シャワールーム、洗濯場、電子ピアノ
寮舎費 年間 540,000円(水道・光熱費含む)
食費 1日2食(朝・夕) 1,000円



オススメポイント

1

全室「個室」
プライベートな時間がゆっくり過ごせます。

オススメポイント

2

トレーニングもできます!
休日も体を動かせるよう、1階にトレーニングルームがあります。

エントランス

扉はカード式オートロック。入るとすぐスタッフルームがあり安心です。

個室

学習机、ベッド、棚、クローゼット、冷蔵庫完備のワンルームです。

浴室

浴室とシャワールームが完備。シャワールームは24時間使用できます。

トレーニングルーム

フィットネスバイクなどトレーニングマシンが充実しています。

洗濯場

2～6階には洗濯場があり、各階に洗濯機・乾燥機が11台あります。

談話室

テレビを備え、自由にくつろげる談話室が2～6階にあります。

食堂

寮では、朝・夕の1日2食を食堂でとります。栄養バランスの取れた食事の提供をしています。
 ※食事の一例

朝食

夕食

オススメポイント

3

交流スペースがいっぱい!
124人が一緒に食事できる広くて明るい食堂があります。ここでは大きな集会も可能。各階には学生が集える談話室があり、寮生の交流に役立っています。

〔学費〕

大学 体育学部 体育学科

学年	1年次	2年次以降(年間)
入学金	300,000円	—
授業料	740,000円	740,000円
施設設備費	300,000円	300,000円
実験実習料	60,000円	60,000円
計	1,400,000円	1,100,000円

入学から卒業まで	4,700,000円
----------	------------

短期大学 保健体育学科

学年	1年次	2年次以降(年間)
入学金	230,000円	—
授業料	680,000円	680,000円
施設設備費	270,000円	270,000円
実験実習料	50,000円	50,000円
計	1,230,000円	1,000,000円

入学から卒業まで	2,230,000円
----------	------------

短期大学 児童教育学科

学年	1年次	2年次以降(年間)
入学金	230,000円	—
授業料	720,000円	720,000円
施設設備費	270,000円	270,000円
実験実習料	60,000円	60,000円
計	1,280,000円	1,050,000円

入学から卒業まで	2,330,000円
----------	------------

上記納付金のほか、諸会費(委託徴収金)があります
 後援会入会金・年会費 1年次 14,000円 2年次以降 7,000円
 学友会入会金・年会費 1年次 5,000円 2年次以降 2,000円
 同窓会入会金・年会費(卒業年次のみ) 12,000円

〔奨学金〕

本学では、大学・短期大学独自の奨学生制度を設けています。また、日本学生支援機構奨学金ほか、都道府県、市区町村などの地方公共団体、財団など各種奨学金制度を活用できます。

1. 本学独自の制度

〔藤村学園英奨学生〕

経済的支援の必要のある学生で、学業成績と学業以外の活動において優れた資質、素質を有し、着実に実績を積んでいる将来有為な学生に対し、学資を支援する制度です。

〔スポーツ奨学生〕

スポーツ活動において優秀な成績を収めた学生に対して奨学金を授与し、競技活動を奨励・支援する制度です。

〔藤村学園スポーツ特別奨学生〕

本学の建学の精神及び教育理念に沿って本学の社会的地位の基盤に学生として貢献し高度な技術を有する人物で、スポーツ推薦入学生及び総合型選抜特別選抜(スポーツ)入学生等のうち、特に優れた成績を収め、将来が期待できる者を支援する制度です。

〔国際競技会等に対する激励金及び報奨金〕

オリンピック・ユニバーシアード・国際競技大会等に日本代表として出場する学生に対し、激励金を授与。また、その成績に応じて報奨金を授与する制度です。

〔藤村トヨ奨励金〕

学業成績その他の活動を含め、建学の精神に則り模範となる学生に対し、表彰及び奨励金を授与する制度です。

〔藤村学園スカラシップ制度〕

建学の精神に基づき、本学の教育理念を理解し、対象の入学生試験において優秀な成績を収め、他の学生の範となる学生に対し奨学金を給付する制度です。

2. 国の奨学金制度等

〔日本学生支援機構奨学金〕

最も一般的で、規模の大きい国の育英事業として、日本学生支援機構が行っている奨学金制度です。

〔高等教育の修学支援新制度〕

日本学生支援機構給付型奨学金と併せて、授業料・入学金減免が受けられます。

〔国の教育ローン〕

入学金など、入学手続き時の学納金資金の貸付制度として国の教育ローン制度があります。詳しくは、日本政策金融公庫ホームページをご確認ください。

▶日本政策金融公庫ホームページ <https://www.jfc.go.jp/>

〔提携教育ローン〕

本学が提携している(株)オリエントコーポレーションの「学費サポートプラン」と(株)セディナの「セディナ学費ローン」は、学納金(入学金含む)、寮舎費等を上記の信販会社が学費負担者に代わって本学に立て替え、学費負担者は毎月分割で信販会社に返済する制度です。ご希望の方はホームページをご確認ください。

2021 年度入学定員

学部学科	入学定員
大学 体育学部 体育学科1年	340名
大学 体育学部 体育学科3年(編入学)	40名
短期大学 保健体育学科1年	40名
短期大学 児童教育学科1年	100名
計	520名

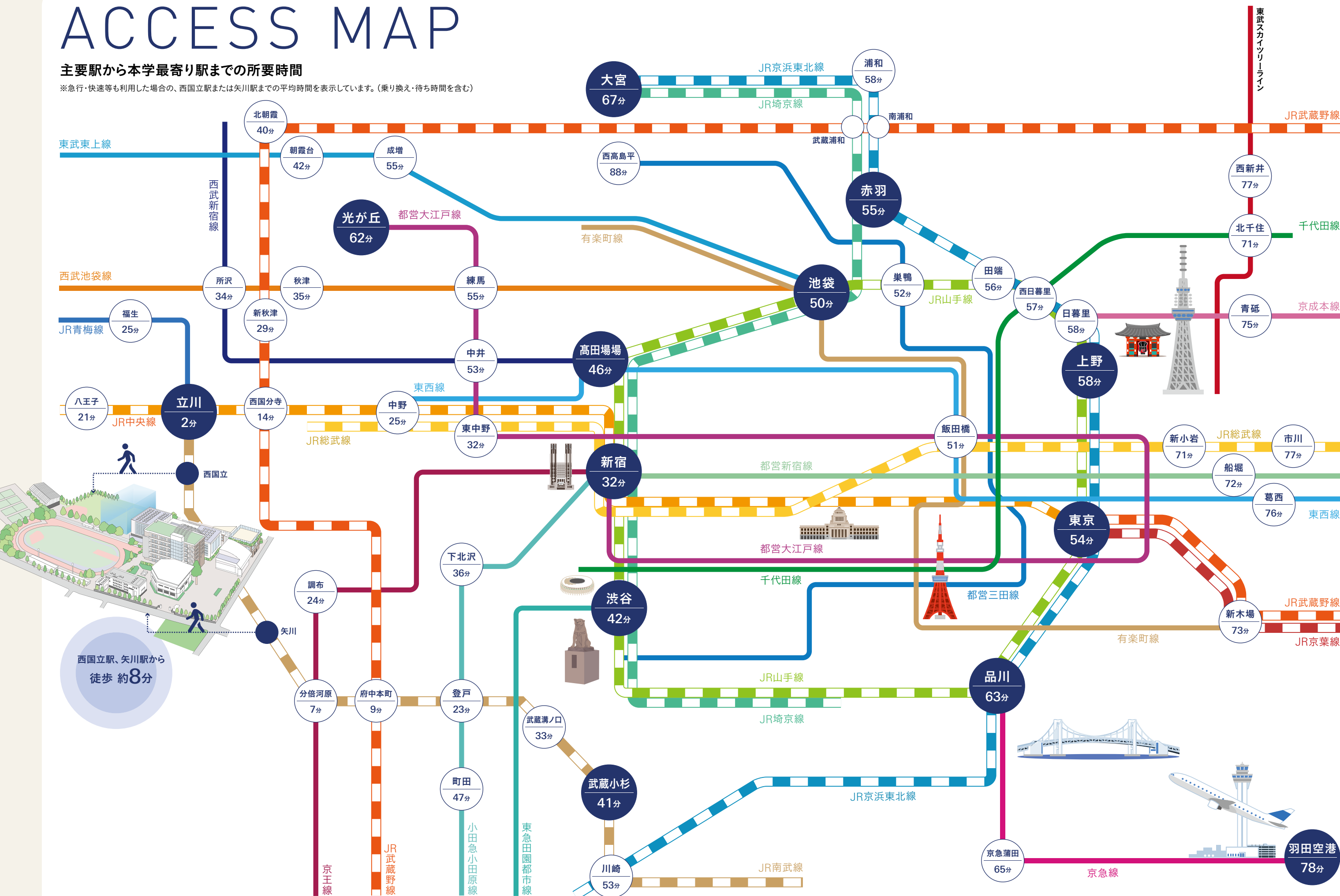
2021 年度収容定員

学部学科	収容定員
大学 体育学部 体育学科	1,440名
短期大学 保健体育学科	90名
短期大学 児童教育学科	210名
計	1,740名

ACCESS MAP

主要駅から本学最寄り駅までの所要時間

※急行・快速等も利用した場合の、西国立駅または矢川駅までの平均時間を表示しています。(乗り換え・待ち時間を含む)

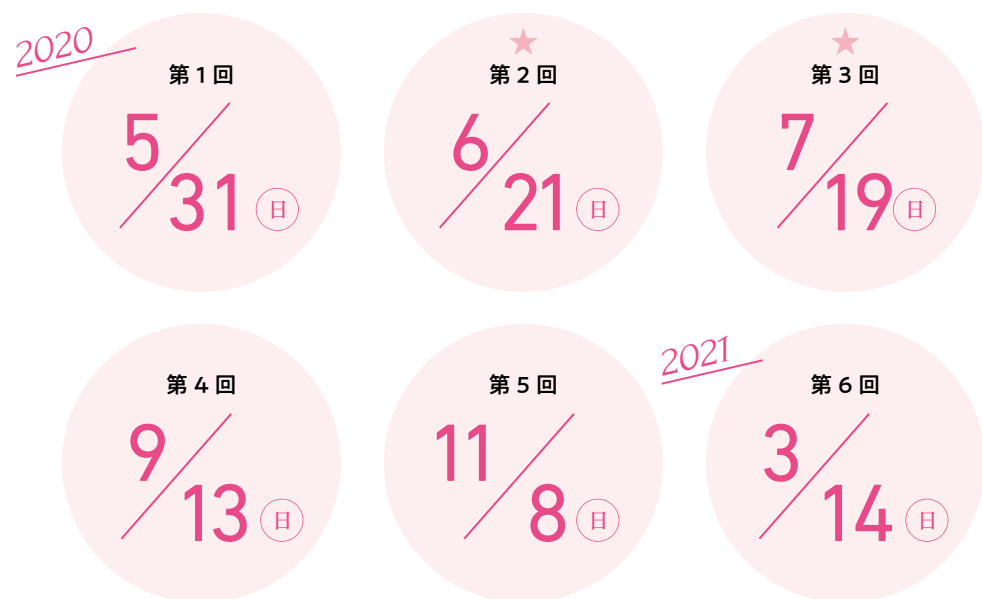




東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 2020年度 オープンキャンパス日程

2020年度のオープンキャンパス(大学公開)は、下記日程での開催を予定しています。
全日程において予約は不要となっておりますので、どうぞお気軽にご参加ください。
ご参加いただいた方にはもちろん**TWCPEキャンパスグッズ**を差し上げます！

開催時間 > 10:00 ~ 15:00 (受付 9:30 ~)



◆全日程共通内容

- ・大学、短大紹介DVD上映
- ・大学、短大概要等説明
- ・クラブ学生のパフォーマンス
- ・キャンパスツアー
- ・寮見学
- ・スマイルカフェ(学生との交流)
- ・奨学金ガイダンス
(日本学生支援機構のアドバイザーが説明します。)

- ・体験授業
- ・個別相談(入試、授業、資格、就職、学生生活、クラブ、寮等)
- ・クラブ見学
- ・クラブ体験

★特別内容

[6/21(日)と7/19(日)のみ]

- ・特別講演
- ・体験学食

人気の
学食メニューを
ぜひ体験して
みてください。

●キャンパス情報



LINE 公式アカウント

LINEで友だち登録をすると、
オープンキャンパスなどの最新情報を
随時受け取れます！

●広報物のご案内

東女体大のことをもっと知りたいあなたに！

大学案内のほかにも短期大学を紹介したパンフレットやスポーツが好きな人のためのフリーペーパー「ラブスポ!」、東女体大ヘッドラインなど、さまざまな広報物をPDFでご覧いただけます。



詳しくはこちらの
ホームページをご覧ください。



●周辺図



JR 南武線 > 西国立駅下車徒歩約8分
JR 南武線 > 矢川駅下車徒歩約8分
タクシー > JR 中央線国立駅(南口)から1,000円程度
バス > JR 中央線国立駅(南口)より
「立川駅南口行き」乗車、富士見台四丁目下車 徒歩3分



学校法人 藤村学園
東京女子体育大学
東京女子体育短期大学



詳細はホームページをご覧ください。
<https://www.twcpe.ac.jp/>

〒186-8668 東京都国立市富士見台四丁目30番地の1 TEL : 042-572-4131 (代表)

掲載している情報は、2020年3月時点のものです。